

科目名	SCH100: 人間学 I			担当教員 丹木 博一, 小林 宏子, 岩崎 明子, 海老原 晴香, 浅野 幸, W. Nampet, 褐田 玲	
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		
担当教員の連絡情報	各科目担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味				
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問いに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。				
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>				
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000~1,200 字の小レポート 2回) (30%)、期末課題 (2,000 字以上のレポート) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000~1,200 字の小レポート×2 回。①「他者との共生」について、問い合わせ立て、自分自身の考察として表現できること。②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000 字以上の中論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p> <p>【Nampet 講師の評価方法および評価基準は人間学 I (S) のシラバスを参照すること。】</p>				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1-15	各科目担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

<b>テキスト</b>	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学) 【Nampet 講師のテキストは人間学 I (S) のシラバスを参照すること。】
<b>参考書</b>	ヴィクトール・フランクル (池田香代子訳) 『夜と霧』 (みすず書房) エーリッヒ・フロム (鈴木晶訳) 『愛するということ』 (紀伊國屋書店) キューブラー・ロス (鈴木晶訳) 『死ぬ瞬間』 (中公文庫) 【Nampet 講師の参考書は人間学 I (S) のシラバスを参照すること。】
<b>その他 特記事項</b>	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ① <月のみ>				担当教員	海老原 晴香
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000~1,200字の小レポート2回) (30%)、期末課題 (2,000字以上のレポート) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000~1,200字の小レポート×2回。            ①「他者との共生」について、問い合わせを立て、自分自身の考察として表現できること。            ②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上の小論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入：なぜ人間学を学ぶのか／人間とは何か、復習と課題について	講義、リアクションペーパー	【復習】配布した資料とテキスト pp.2-13 読む
2	人間は他の動物とどこが違うのだろう？	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料とテキスト pp.16-22 (4-2まで) を読む
3	変わっていく自由を持つ人間	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料とテキスト pp.25-29 を読む
4	人間の自由、「他者」とのかかわり 1 —「非行少年」ツバサの居場所	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料とテキスト pp.30-35 (3-3まで) を読む
5	人間の自由、「他者」とのかかわり 2 —Big Issueで生まれるかかわり	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.70-78 を読み、中間課題①を仕上げる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
6	人間の自由、「他者」とのかかわり 3 —男らしさ、女らしさ：性とジェンダー	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	※中間課題①提出日 【復習】p.27 (6-2) を読む
7	人間の自由、「他者」とのかかわり 4 —LGBTとキリスト教	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料とテキスト pp.59-68 を読む
8	自然・環境と人間	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料とテキスト pp.94-107 を読む
9	いのち、死と人間 1 —選ばれいのち	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.120-126 を読み、中間②を仕上げる
10	いのち、死と人間 2 —誰が決める？いのちの価値	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	※中間課題②提出日 【復習】pp.126-133 を読む
11	死を見つめて生きるということ —ゆがんだ死のイメージ？	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.134-140 (2-5まで) を読む
12	尊厳ある死を求めて	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.140-144 を読む
13	絶望する人、希望を失わない人 1 —マキシミリアン・コルベ神父の生	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.146-159 を読む
14	絶望する人、希望を失わない人 2 —永井隆博士の生	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	【復習】資料と pp.161-175 を読み、期末課題をまとめる
15	春学期のまとめ	講義、映像視聴、分かち合い、リアクションペーパー	※期末課題提出日

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学)
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』(みすず書房) エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』(紀伊國屋書店) キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』(中公文庫)
その他 特記事項	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ② <月のみ>				担当教員	浅野 幸
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の中に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なことは何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000~1,200字の小レポート2回) (30%)、期末課題 (2,000字以上のレポート又は試験) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000~1,200字の小レポート×2回。①「他者との共生」について、問い合わせ立て、自分自身の考察として表現できること。②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上の中論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	本講義の概要、目的、方法。キリスト教的ヒューマニズムについての予備理解。	講義・グループ分け リアクションペーパー	教科書 pp.9~10, pp.161~175
2	動物と人間。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.16~17
3	人間らしさと成長。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.18~29
4	他者と共に生きること。友情、愛、結婚について。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.59~68

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	人間と自然。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.93~116
6	生命とのかかわり (1) 出産にかかる諸問題を通して考える。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.119~133 中間課題提出
7	生命とのかかわり (2) 痛苦、死について考える。	DVD 視聴、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.134~144
8	人間と社会 (1) 移民・差別問題を通して考える。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.69~79
9	人間と社会 (2) 国際社会における開発と経済の問題を通して考える。	講義、リアクションペーパー	教科書 pp.80~92
10	自由とモラル、人間の良心。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.30~44
11	文化を創造する人間 (1) 言語行為と言語文化。	講義、リアクションペーパー	教科書 pp.46~58
12	文化を創造する人間 (2) 科学技術と芸術。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	プリント No.12 講義内容の復習
13	人間と時間。歴史。	講義、リアクションペーパー	プリント No.13 講義内容の復習
14	生の意味と魂の深みの次元。	グループディスカッション、講義、リアクションペーパー	教科書 pp.146~160
15	まとめ。	講義、リアクションペーパー	教科書 pp.146~175 期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学)
参考書	ヴィクトール・フランクル(池田香代子訳)『夜と霧』(みすず書房) エーリッヒ・フロム(鈴木晶訳)『愛するということ』(紀伊國屋書店) キューブラー・ロス(鈴木晶訳)『死ぬ瞬間』(中公文庫) 神谷美恵子『人間をみつめて』(河出書房新社)
その他 特記事項	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ③ <月のみ>					担当教員	小林 宏子
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4204	オフィスアワー	火4限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000～1,200字の小レポート2回) (30%)、期末課題 (2,000字以上のレポート) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000～1,200字の小レポート×2回。①「他者との共生」について、問い合わせ立て、自分自身の考察として表現できること。②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上的小論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	人間学の概要・目的・授業の進め方	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.2-13、161-175を読む
2	動物としての人間の特徴	講義、DVD視聴、話し合い	教科書 pp.16-17、120-123のコメントシート準備
3	甘えと自立：精神的成长について	講義、DVD視聴、コメントシート	教科書 pp.18-29のコメントシート準備
4	「自由」について考える（1） 意志の自由、感情について	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.30-39のコメントシート準備
5	「自由」について考える（2） 招きとしての自由	講義、DVD視聴、話し合い	教科書 pp.39-44のコメントシート準備
6	他者とのかかわり 「かかわり」という視座	講義、DVD視聴、コメントシート	教科書 pp.46-58のコメントシート準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	他者との共生・よく生きること 中間課題①の提出	講義、話し合い、コメントシート	中間課題①の準備
8	ジェンダーとセクシュアリティ（1） 生き方としての性	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.59-68 のコメントシート準備
9	ジェンダーとセクシュアリティ（2） 成熟と性	講義、話し合い、コメントシート	配布プリントについての考察
10	社会とのかかわり 公正な社会、差別なき世界へ	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.70-79 のコメントシート準備
11	自然とのかかわり 中間課題②の提出	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.108-117 を読む 中間課題②の準備
12	生命とのかかわり（1） 生命のはじまり	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.120-133 のコメントシート準備
13	生命とのかかわり（2） 死をめぐるかかわり	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.134-144 のコメントシート準備
14	かかわりの源泉へ 人間と宗教	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.146-160 のコメントシート準備
15	人間学とキリスト教ヒューマニズム 期末課題の提出	発表、話し合い	期末課題の準備

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ④ <月のみ>					担当教員	岩崎 明子
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4213	オフィスアワー	火4限、木2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000~1,200字の小レポート2回) (30%)、期末課題 (2,000字以上のレポート) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000~1,200字の小レポート×2回。            ①「他者との共生」について、問い合わせを立て、自分自身の考察として表現できること。            ②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上の小論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	人間学の概要・目的・進め方 —上智の人間学—	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト2-13頁を読み 問題意識を持つ（以下同様）
2	動物としての人間の特徴 —生物学的視点から—	講義、DVD、意見交換、リアクションペーパー	テキスト16-22頁
3	生きることと愛されること —発達心理学の視点から—	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト22-29頁
4	家族との関わり —家族社会学の視点から—	講義、DVD、意見交換、リアクションペーパー	テキスト22-29頁
5	自由・幸福・よく生きること —倫理学的視点から—	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト30-44頁
6	他者との対話 —コミュニケーション—	講義、DVD、意見交換、リアクションペーパー	テキスト46-58頁 中間課題①の提出期限

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	成熟・エロス・ジェンダー —ジェンダー学の視点から—	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト 59-68 頁
8	人間の尊厳と権利、差別 —政治哲学的視点から—	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト 70-79 頁
9	環境の中の人間 —環境学の視点から—	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト 94-117 頁
10	いのちの重さ —生命倫理の視点から—	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト 120-133 頁 中間課題②の提出期限
11	死をむかえること —哲学・宗教学の視点から—	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト 134-144 頁
12	人生の苦難と救い —宗教学・神学からの視点から—	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト 146-160 頁
13	わたしの人生の意味と希望 キリスト教ヒューマニズム	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト 165-175 頁
14	期末レポートの発表	発表と評価、質疑応答	期末レポートのレジメ
15	期末レポートの発表	発表と評価、質疑応答	期末レポートのレジメ 期末課題の提出期限

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学)
参考書	ヴィクトール・フランクル(池田香代子訳)『夜と霧』(みすず書房) エーリッヒ・フロム(鈴木晶訳)『愛するということ』(紀伊國屋書店) キューブラー・ロス(鈴木晶訳)『死ぬ瞬間』(中公文庫)
履修条件、前提科目	授業参加の準備として、テキストを読み自分の意識した問題をまとめ記録すること。この記録が中間課題や期末課題レポート作成のために必要となる。(記録方法については初回の授業で案内する)
その他特記事項	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ⑤ <月のみ>					担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4214	オフィスアワー	月3限、金2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、授業毎のリアクションペーパー (20%)、中間課題 (1,000~1,200字の小レポート2回) (30%)、期末課題 (2,000字以上のレポート又は試験) (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000~1,200字の小レポート×2回。①「他者との共生」について、問い合わせ立て、自分自身の考察として表現できること。②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上の小論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	人間学の概要・目的・進め方	講義・グループ分け・リアクションペーパー	教科書 pp. 9~10 p.161
2	動物としての人間の特徴 —生物学の視点から見た人間	講義・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.16~17 pp.120~123
3	生きることと愛されること —発達心理学の視点から見た人間	講義・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.18~21
4	家族とのかかわり —家族社会学の視点から見た人間	講義・絵本の朗読・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.21~29

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	成熟・エロス・ジェンダー —ジェンダー論の視点から見た人間	講義・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.59~68
6	他者とのコミュニケーション —言語学の視点から見た人間	講義・DVD 視聴・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.46~53 中間課題提出
7	自由・幸福・よく生きること —倫理学の視点から見た人間	講義・絵本の朗読・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.30~37 pp.53~57
8	人間のニードと経済 —経済学の視点から見た人間	講義・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.88~92 pp.102~107
9	環境のなかの人間 —環境学の視点から見た人間	講義・写真集閲覧・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.98~102 pp.108~110
10	人権と世界平和 —国際関係論の視点から見た人間	講義・DVD 視聴・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.70~79
11	死の意味 —死生学の視点から見た人間	講義・絵本の朗読・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.136~144 中間課題提出
12	人生の価値 —哲学と文学から見た人間	講義・絵本の朗読・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.53~57 pp.162~167
13	人生の苦難と救い —宗教学・神学の視点から見た人間	講義・DVD 視聴・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.148~156
14	自分の人生の意味と希望 —哲学の視点から見た人間	講義・写真集閲覧・グループディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.167~175
15	まとめ	講義・グループディスカッション・リアクションペーパー	期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学)
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための視点を得ることである。積極的参加を望む。

科目名	SCH100: 人間学 I ⑥ <月のみ>					担当教員	袴田 玲
開講期	春	開講時限	月2限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、かかわりという視点から「人間とは何か」という問い合わせに対して学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを目指す中に、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべがあることを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解するために、「人間とは何か」という問い合わせと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することができるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めるながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>②社会や自然とのかかわりの諸相に关心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い合わせ、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>③生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問い合わせについて自分の考えを表現できる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加（20%）、授業毎のリアクションペーパー（20%）、中間課題（1,000～1,200字の小レポート2回）（30%）、期末課題（2,000字以上のレポート）（30%）</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。            リアクションペーパー：授業を踏まえ、自分の考えを論理的に記述できるかどうか。            中間課題：1,000～1,200字の小レポート×2回。            ①「他者との共生」について、問い合わせを立て、自分自身の考察として表現できること。            ②社会制度や自然環境の下での「よい生き方」を問い合わせ、自分自身の考察として表現できること。            期末課題：2,000字以上の中論文。最低一冊の参考文献を読み、人間の有限性を自覚しながら、どうしたら希望をもって生きられるかについて、自分自身の考察を論理的に表現できること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	人間学の概要・目的・進め方 「人間」とはなにか—「意味」を求めて	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.8-10 pp.16-17
2	「私」とはなにか（1） 自我の形成	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.18-26
3	「私」とはなにか（2） 性とジェンダー	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.26-29 pp.59-68
4	「他者」とはなにか コミュニケーションの可能性と不可能性	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.46-58
5	社会とのかかわり（1） 人権と差別	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.70-79
6	社会とのかかわり（2） 開発と格差	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.80-92 中間課題①提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	自然とのかかわり（1） 現代社会と環境	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.94-107
8	自然とのかかわり（2） さまざまな自然観	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.108-117
9	生と死をみつめて（1） いのちの始まりと生殖医療	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.120-133
10	生と死をみつめて（2） 「死」の定義をめぐる諸問題	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.134-140
11	生と死を見つめて（3） 「尊厳ある死」と死後観	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.140-144 pp.54-57 中間課題②提出
12	人間の自由と人生の価値	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.30-44
13	人間と宗教 日本人は「無宗教」？	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.146-160
14	キリスト教の人間理解 呼びかけと応答	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.161-175
15	まとめ 「人間」とはなにか	講義、意見交換、リアクションペーパー	期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	あらゆる学問の基礎には、「人間とは何か」という問い合わせが横たわっている。その問い合わせに対し幅広い展望を与えるとする本授業は、そのために必修科目になっている。主体的な関心をもち、積極的に授業に参画してほしい。

科目名	SCH100: 人間学 I (S) <月のみ>					担当教員	W. Nampet
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4 号館 2 階講師控室		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	humanity, human evolution and behaviors, life, consciousness, freedom, morality, maturity.						
授業の概要	Anthropology, a study of humanity, deals with all that is characteristic of the human experiences, from physiology and the evolutionary origins to the social and cultural organization of human societies as well as individual and collective forms of human experiences. This course focuses on the understanding of human evolution, and the main essential characters of becoming an individual as human “life”, namely, development of consciousness, freedom, morality, maturity, Eros, etc.						
達成目標 および 到達目標	<p><i>Course goals:</i>            The aim of this course is to examine a view of human being in accordance with the spirit of the Sophia foundation, which is grounded on Christ's teachings on humanism. Within this connection, it aims to help students to appreciate human dignity existing in an individual based on the studies of human history and development; the uniqueness of characters of human life and behaviors (i.e., consciousness, freedom, morality, socialization, etc.).</p> <p><i>Learning objectives:</i>            By the end of the semester, students will be able to explain how a human individual exists in the context of human history and evolution; and describe the uniqueness of human characteristics and behaviors in general.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p><i>Categories:</i>            Class participation (30%), Class assignments (20%), Formative assessments (30%), Midterm exam (20%).</p> <p><i>Criteria:</i>            Class participation (regularly-actively attending classes, a daily quiz of knowledge gained from the previous lesson, individual idea contributions and asking questions, and group discussions); Class assignments (short reports, film critics, reading assignments, homework, and self-studies); Formative assessments (two short tests held by two weeks prior to the Midterm, and the end of semester); and Midterm exam (a written exam: objective and subjective types).</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction: Review of Basic Concepts Related	PPP-presentation, lecture, discussion	Course Orientation
2	Life Existence & Evolution	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Human Origins set 1
3	Scientific Search for Human Origins	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Human Origins set 2
4	Characteristics of Human Behaviors	Individual studies and reports	Research in the library
5	Development of Human Characteristics and Psychological Traits	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Early Human Behaviors and psychological traits
6	Formative Assessment I Development of Human Mind	The first short test, PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Human mind
7	Stages of Development of Consciousness	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Development of Consciousness
8	Mid-term Exam Introduction to Moral Development	Written exam, Film show	Handout for reading: Stages of Moral Development; discussion on the films.
9	Moral Development Theory	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Moral Development Theory

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Moral Issues—Case studies	Individual and group discussion	Case studies of some Moral issues for an individual analysis and reports; and for group work prepared for an in-class report and discussion
11	Human Freedom	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Human Freedom
12	Maturity and Eros	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Personality Theory
13	Formative Assessment II Current Issues: Globally and Locally	The second short test; Film show, discussion	Film shows based on “Selective Issues” for in-class discuss and for an individual critics
14	Current Issues: Globally and Locally	Film show, discussion	Film shows based on “Selective Issues” for in-class discuss and for an individual critics
15	Course review and Conclusion	PPP-presentation, lecture, discussion	Wrapping-up materials from which some crucial questions will be asked for students to prepare for the class discussions.

テキスト	Articles taken from various sources will be given to students according to the topics related in a form of class handouts which are selected, edited and / or written by the teacher of this course.
履修条件、前提科目	TOEIC-IP score : 450 or above.

科目名	SCH101: 人間学II <月のみ>					担当教員	小林 宏子
開講期	春	開講時限	月 3限	研究室	4204	オフィスアワー	火 4限、木 3限
分類	選択	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、個人の尊厳、人格形成、自己愛、愛、死、宗教、被贈与性、超越性						
授業の概要	キリスト教ヒューマニズムの視点から、「人間の尊厳」や「個人の尊厳」の根拠について考察し、人間性に備わる様々な次元を統合する核となる主体性を確立するプロセスとしての人格形成の意義を学ぶ。また、現代社会の影響下で形成される人間観を振り返り、尊厳にふさわしい生き方と接し方について考察する。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            人間を人格的主体としてとらえるキリスト教ヒューマニズムの聖書的根拠を理解するとともに、人間性が備える種々の可能性の高みと深みを理解し、人間の尊厳に相応しい、自分自身、他者、国家、国際社会、自然、神と向き合う際の態度を考察する視点を持つことができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人ととの間に生きる自己の尊厳を理解するための視点を学び、自己を肯定的に評価し受容する土台を確認し、それを言葉で表現することができる。</li> <li>社会や世界で起こる事柄を「他者と共に生きる」自己の課題として考察し、その課題解決に向き合うことの価値を理解し、表現できる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (20%)、コメントシート (2%×15=30%)、中間課題 (20%)、期末課題 (30%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参画：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したかどうか。            コメントシート：自分の現実的経験を教科書の内容と関連付けて客観的に考察することができ、気づいた事柄を文章で表現できるかどうか。            中間課題：2,000字程度のレポート「自分を愛すること」について、人格形成の視点から問い合わせ立てて考察し、意見を表現できること。            期末課題：2,000～2,500字の小論文。テキストと参考書を踏まえ、現代社会の問題について「人間の尊厳」という視点から考察し、自分の意見として表現できるかどうか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義概要の説明とキリスト教ヒューマニズムについて (1)	講義、話し合い、コメントシート	配布プリントの復習と予習
2	キリスト教ヒューマニズムについて (2) 二人の自分	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.12~23 のコメントシート準備
3	人格性の特徴	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.235~264 のコメントシート準備
4	精神衛生と成熟	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.265~324 のコメントシート準備
5	人格について	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.24~56 のコメントシート準備
6	人格としての生き方と接し方 (1) かけがえのない個の自覚	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.56~78 のコメントシート準備
7	人格としての生き方と接し方 (2) 意味を与えて生きる	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.78~116 のコメントシート準備
8	人間理解について 自分を知ること (1) 自己受容について	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.117~142 のコメントシート準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	自分を知ること（2） 自己概念の形成	講義、話し合い、コメントシート	中間課題の準備と提出
10	他人を理解すること	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.142~158 のコメントシート準備
11	愛について	講義、話し合い、コメントシート	教科書 pp.159~199 のコメントシート
12	人間の尊さ（1） 尊さの根拠	講義、DVD 視聴、コメントシート	教科書 pp.200~234 のコメントシート準備
13	人間の尊さ（2） 人間の位置づけ	講義、話し合い、コメントシート	期末課題の準備
14	人間の有限性と超越性	講義、話し合い	期末課題の準備
15	まとめと発表	発表、話し合い	期末課題の準備と提出

テキスト	渡辺和子『「ひと」として大切なこと』（PHP 文庫）
参考書	エーリッヒ・フロム『よりよく生きるということ』（第三文明社） マイケル・サンデル『完全な人間を目指さなくてもよい理由』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	2年次生のみが登録できる。1年次生は秋学期に開講される人間学IIの履修となる。

科目名	SCH101: 人間学II					担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	水1限	研究室	4213	オフィスマーク	火4限、木2限
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	関わりの中で成長する人間						
授業の概要	人間学Iに引き続き、かかわりを生きる人間の諸側面を考えていく。キリスト教の精神に基づく人間観とは何かを考えながら、社会や世界の中で苦しむ人々の問題と向き合い、ある信念をもって自分の人生をかけて行動した人々から学んでいく。苦難の中にあっても人間の尊厳を保つ努力をした人々の姿勢から、人間らしさの質を見出し、人生の意義について考えしていく。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】自分を取り巻く世界をより深く知り、家族、国家、世界の中で苦しむ存在とは誰なのかを考えながら、自分の生き方を振り返り、よりよい自分へ成長するための課題と希望を見つける。</p> <p>【到達目標】社会や世界にある問題から、関心のあるテーマを選び、レポートに書き、それを自分の主張や提言として発表できるようなものに仕上げる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】質問票(35%)、質問・議論(15%)、中間レポート(15%)、期末レポート(2,400字~4,000字)(20%)、主張・提言の発表(15%)</p> <p>【評価基準】質問票への回答：問題意識をもち、客観的な視点も含めた文章である。 討議：コーディネーターや記録、発表の役割を積極的に果たし、課題に適した質疑応答を行うことができ、話し合いを深めることに貢献する。 中間課題：2回から7回までの講義の内容を参照しつつ、現代家族または現代社会の問題を取り上げリサーチ後、小論文形式にまとめる。 期末課題：テーマを選択後、それに関する内容を調べ、書籍を2冊以上参照し、アカデミックなレポートの書き方に従って、自分の意見を論理的にまとめられる。 主張・提言：自分の一番主張したい課題のポイントを、アカデミックにしかし独自性をもって発表する努力をする。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義の概要説明と自己紹介 対話の大切さ	講義、自己紹介、コメントシート	人間学Iで興味をもったテーマについて意見を書く
2	家族とのかかわり(1) —家族の問題—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
3	家族とのかかわり(2) —教育と成長の問題—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
4	社会とのかかわり(1) —個人の人権と尊厳とは—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
5	社会とのかかわり(2) —一心を育てる教育とは—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
6	社会とのかかわり(3) —福祉的なコミュニティーとは—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
7	世界とのかかわり(1) —差別意識 vs 多文化共生社会—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる *中間レポートの提出期限
8	世界とのかかわり(2) —貧困と格差 vs 分かち合い—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる *期末課題テーマ決定
9	世界とのかかわり(3) —争い vs 和解とゆるし—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる *期末課題テーマ提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	いのちの意義について（1） —赤ちゃんのいのちを守るために—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
11	いのちの意義について（2） —生きがいとは、生きる希望とは—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
12	いのちの意義について（3） —ホスピス・終末医療の現場から—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる
13	人生の意義とキリスト教について —作品を通して考える—	講義、DVD、討議 コメントシート	課題の質問票に答えてくる ＊期末レポート発表のレジメ用意
14	レポートの発表とまとめ	口頭発表（生徒半数）	＊発表のレジメ持参
15	レポートの発表とまとめ	口頭発表（生徒半数）	＊発表のレジメ持参 ＊期末課題の提出期限

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学出版） ハンドアウト
参考書	ハイメ・カスターイエダ+井上英治編『現代人間学』（春秋社） 他推薦図書
履修条件、前提科目	期末レポートの課題提出が無い場合は、発表の機会は認められない。また、課題が提出されても通常の出席日数が少ない場合は単位が取れない場合もある。
その他 特記事項	問題意識をもって人の話や資料を理解する努力と、活発な意見交換を期待します。

科目名	SCH101: 人間学II				担当教員	田村 和子
開講期	秋	開講時限	水2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	女性、いのち、人権、平和					
授業の概要	<p>人間学IIでは、「人間として、女性として生きる意味」を中心に考察を深めていきたい。まず、様々な時代、世界において、困難に出会いながらも自分の意志を貫き、歩んだ女性の生涯を調べ、彼女たちがどのように道を選び、切り拓き、歩んだかを学び、彼女を動かした根源的な力は何だったのかを考える。</p> <p>また視点を、私たちを取り巻く身近な問題に移し、家庭、労働、社会、グローバル化、生命、死、について調べ考察する。それらの学習を通して、これから時代を私たち女性は平和で幸福な社会を築くためどのように生き、どんな貢献ができるかを考える。</p>					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人の生涯を通して、私たちひとり一人に与えられている人生の意味について話し合い、ひとり一人が固有性を持った人間であるという理解を深めることが出来る。</li> <li>女性として、また他者の為に、他者と共にこの社会をどう生きるのか自分の考えを持つ。</li> </ul> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の中で、様々な困難、人々とのかかわりを通して生きたモデルを知り、自分の固有性について考えることが出来る。</li> <li>社会における女性を取り巻く問題を具体的に調べ、状況を理解し、自分はどのように生きて行くのか、社会に何を貢献できるかを考え、表現することが出来る。</li> </ul>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業参画(20%)、授業毎のリアクションペーパ(30%)、中間課題(研究テーマに基づく調査、考察、発表)(20%)、期末課題(2,000字以上のレポート)(30%)</li> </ul> <p>「人間学I」に2/3以上、出席していたことが望ましい。レポート作成に際しインターネットからの無断借用があった場合は0点</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業に積極的に参加し、自分の考えをまとめ、発表することが出来る。</li> <li>授業を通して理解したこと、また、自分の考え、意見を文章で表現できる。</li> <li>自分の関心のある研究テーマを選び、調べ、自分の考えを深め、プレゼンテーションすることができる。</li> <li>課題図書の中から人物を選び、時代背景、歩みを調べ、生き方に対して自分の意見を文章で表現できる。</li> </ul>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業の概要、目的、進め方について	講義・質疑応答	かかわりの人間学 pp.6~13を読む
2	女性の生き方 先人に学ぶ 津田梅子	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパ
3	女性の生き方 先人に学ぶ 井深八重	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパ
4	女性の生き方 先人に学ぶ レイチェル・カーソン	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパ
5	女性の生き方 先人に学ぶ マザー・テレサ	講義・質疑応答	課題の準備
6	私たちを取り巻く問題 女性と家庭	話し合い	課題の準備
7	私たちを取り巻く問題 女性と働くこと	講義・話し合い	テーマにそった資料集め

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	私たちを取り巻く問題 女性と社会	講義・話し合い	テーマにそった資料集め
9	私たちを取り巻く問題 女性と世界	講義・話し合い	テーマにそった資料集め
10	私たちを取り巻く問題 いのちと死	講義・話し合い	テーマにそった資料集め
11	これからの女性と社会の展望 少子社会と高齢化	学生発表・質疑応答 講義	テーマの発表準備
12	これからの女性と社会の展望 人権と差別	学生発表・質疑応答 講義	テーマの発表準備
13	これからの女性と社会の展望 グローバル化	学生発表・質疑応答 講義	テーマの発表準備
14	これからの女性と社会の展望 平和を築くために	学生発表・質疑応答 講義	テーマの発表準備
15	まとめ	講義	プリントを読む

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』(上智大学)
参考書	長島世津子『女の子からの出発』(丸善プラネット)
履修条件、前提科目	春学期の授業「人間学Ⅰ」を深め、社会における女性を取り巻く問題に興味を持って追求し、自分の考えをまとめ表現する。
その他 特記事項	受講者、人数によって計画を変更することがある。 自分で調べ、考えをまとめる学習を心がける。

科目名	SCH101: 人間学 II (S)				担当教員	W. Nampet
開講期	秋	開講時限	水2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	nature, societies, culture, nation, family, social obligation, religion, religious beliefs and faith					
授業の概要	<p>The course primarily focuses on perspectives of human relationships within the nature and the societies. Specially, it deals with both personal and collective relationships within the family, other persons, the communities, the nation and the natural environments with ethical and intellectual awareness, obligations and responsibilities. Some complex and deeper perspectives such as life and death, faith, belief, and religion will be also introduced with regard to human life and dignity.</p>					
達成目標 および 到達目標	<p><i>Course goals:</i>            In connection with the course Philosophical Anthropology (人間学 I), it aims to help students to gain their better understanding and appreciation of not only human growth and relationships existing in natural environment, the nation, cultural societies and family; but also deeper perspectives of human life (i.e., life and death, faith and religion); and to apply their understanding as such in contemporary issues and problems with regard to human life and relationships as such.</p> <p><i>Learning objectives:</i>            By the end of the semester, students will be able to describe the main aspects of human relations to the family, the society, the nation, natural environments, and the global community; and to discuss particular deeper dimensions of human life and death, faith and religions; and contemporarily social problems and issues concerning such human relationships and dignity.</p>					
評価方法 および 評価基準	<p><i>Categories:</i>            Class participation (30%), Class assignments (20%), Formative assessments (30%), Midterm exam (20%).</p> <p><i>Criteria:</i>            Class participation (regularly-actively attending classes, a daily quiz of knowledge gained from the previous lesson, individual idea contributions and asking questions, and group discussions); Class assignments (short reports, film critics, reading assignments, homework, and self-studies); Formative assessments (two short tests held by two weeks prior to the Midterm and to the end of semester); and Midterm exam (a written exam: objective and subjective types).</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction to the course	PPP-presentation: Lecture	Course Orientation
2	Relation to Nature: Oriental perspectives	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Oriental Perspectives on Nature
3	Relation to Nature: Western perspectives	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Western Perspectives on Nature
4	Relation to Other Persons: Human relationships	PPP-presentation, lecture, film show, discussion	Handout for reading: Social Context of Human Development and Relationships
5	Relation to Other Persons: Man and Family, Peers & Colleagues	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Socialization
6	Relation to Other Persons: Maturity and love	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Maturity for Affection and Love
7	Formative Assessment I Relation to Society: Social Awareness, Obligations and Responsibility	The first short test, PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Man and the Nation: Citizenship
8	Relation to Global Perspective: Man and International Collective / Solidarity	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Man and International Collective / Solidarity

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	Midterm exam Introduction to Japanese Culture	Written exam PPP-presentation, lecture, discussion	Objective and subjective tests will be given
10	Japanese culture: Its Roots and Influences	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Japanese culture
11	Relation to Society: Man and Modern Worldview	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Man and Modern Worldview
12	Relation to Deeper Perspectives: Life and death	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Life Span, Life & Death
13	Formative Assessment II Relation to Deeper Dimensions: Religious Beliefs and Faith	The second short test; PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Religion & Religious Beliefs / Piety
14	Christian View on Human Being;	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Christian View on Human Being
15	Course review and Conclusion	PPP-presentation, lecture, discussion	Wrapping-up materials from which some crucial questions will be asked for students to prepare for the class discussions.
テキスト		Articles taken from various sources will be given to students according to the topics related in a form of class handouts which are selected, edited and / or written by the teacher of this course.	
履修条件、 前提科目		TOEIC-IP score : 450 or above.	

科目名	HST200: 歴史学					担当教員	森下 園
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、史料論、歴史理論、国際歴史認識問題、歴史教育						
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」をめぐりどんな疑問が提示され、どんな議論がなされてきたのかを学ぶ。特に「唯一絶対の歴史」にひそむ西欧中心主義と、近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】近年の歴史認識をめぐる議論で使われる用語・概念を理解し、受講生がそれを用いて「他者とともに生きる歴史」について各自の見解を論述できるようにすることが目標である。</p> <p>【到達目標】参考資料を読み、用語について事典・参考書で調べ、予習カードに記入することで用語を理解し、講義後に履修カードのまとめ欄に要約や質問を記入することで、各回のポイントを把握できるようになる。試験では予習カード・履修カード・ノート・プリントを参照して論述式の問題に答えられるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】初回と最終回を除く各回提出の履修カードのまとめが <math>2\% \times 26\text{回} = 52\%</math>、予習・履修カード、プリント、自筆ノート持ち込み可のペン書きの設問選択式・論述式の中間試験が <math>24\% \times 2\text{回} = 48\%</math>となる。</p> <p>【評価基準】履修カードは、要点整理して自分の言葉でまとめてあれば2点、箇条書きやプリント内容を写しただけの場合は1点、授業時間内に提出されなかつた場合は0点、試験は設問に対して文章でキーワードを用いてまとめてあれば満点、キーワードを使わない場合や文意の通らない文などは設問ごとにマイナス2点、問題表紙の解答上の注意に従わない場合は0点となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義の概要説明、歴史学の諸問題について	講義、質疑応答	歴史学とはどんな学問であるか、調べてくる
2	歴史学の歴史（1）古代・中世ヨーロッパ	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
3	歴史学の歴史（2）ルネッサンスから啓蒙時代　一時代区分、発展段階説の問題	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
4	歴史学の歴史（3）中国　一天命思想、易性革命	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
5	歴史学の歴史（4）日本　－「紀記」と天皇の歴史	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
6	歴史学の歴史（5）ランケ史学　－近代歴史学の登場	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
7	歴史学の歴史（6）アナール派　－「民衆」の歴史	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
8	史料を読むために（1）古書体学、古書冊学、文書形式学	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
9	史料を読むために（2）暦について	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
10	史料を読むために（3）図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	史料を読むために（4）考古学と文化人類学	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
12	史料を読むために（5）オーラルヒストリー	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
13	研究紹介 マルク・ブロック『王の奇跡』と中間試験	講義、質疑応答、試験	12回までの授業のまとめ
14	理論（1）西欧哲学の世界観	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
15	理論（2）構造主義とポスト構造主義	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
16	理論（3）言語論的転回と歴史学	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
17	理論（4）文学とポストコロニアリズム	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
18	理論（5）歴史修正主義と社会構築主義	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
19	理論（6）ジェンダーと歴史学	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
20	歴史とメディア（1）写本からマス・メディアの登場まで	講義、試験返却、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
21	歴史とメディア（2）現代メディアの問題点	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
22	歴史教育（1）国際歴史教科書問題 一ヨーロッパ	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
23	歴史教育（2）国際歴史教科書問題 一日本・韓国・中国	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
24	歴史教育（3）英国の歴史教育	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
25	震災と歴史	講義、質疑応答、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
26	研究紹介 エドワード・サイード『オリエンタリズム』と中間試験	講義、質疑応答、試験	25回までの授業のまとめ
27	研究紹介 綱野善彦『異形の王権』	講義、グループワーク、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
28	研究紹介 ミッシェル・フーコー『監獄の歴史』	講義、グループワーク、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
29	研究紹介 ナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	講義、グループワーク、履修カード記入	参考資料を読み、予習カードに記入
30	歴史学の諸問題のまとめ	講義、試験返却、講評	これまでの復習

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	J・H・アーノルド『1冊でわかる歴史学』(岩波書店) Jeremy Black & Donald M. Macrauld. <i>Studying History (3rd edition)</i> (Palgrave Macmillan)
その他 特記事項	板書はしない方針。グループワークのため、座席の指定または移動がある。

科目名	PHL200: 哲学					担当教員	丹木 博一
開講期	春 / 秋	開講時限	(春)火金4限 (秋)火金1限	研究室	4214	オフィスマーク	月3限、金2限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	世界の現れ、存在と無、時間、身体、言語、自己と他者、世界に対する態度						
授業の概要	世界が私に現れ、その世界のうちに私が住もうということの謎を、認識論、存在論、行為論、他者論などさまざまな視点から哲学的に考察する。主要な哲学者の言葉をていねいに読み解きながら、代表的な哲学的問いに親しみ、ディスカッションを通して互いに考えを鍛え上げていくことができるようにならう。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>        何気ない日々の営みの中にさまざまな哲学的な謎が潜んでいるということに気づき、その謎の成り立ちを西洋哲学の歴史に照らして考え進めることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋哲学史を色どる大哲学者たちの思想の基本を理解し、それを表現できる。</li> <li>・哲学的問いの重要性を自覚し、自ら問い合わせを提起することができる。</li> <li>・自分が立てた問い合わせについて論理的に筋道を立てて考察を進めることができる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>        授業毎のリアクションペーパー(30%)、中間課題(1,500字程度の小レポート1回)(20%)、期末課題(2,500字以上のレポート)(50%)</p> <p><b>【評価基準】</b>        リアクションペーパー：講義内容について問題意識を持って論述展開できるかどうか。        中間課題：設問について正しく理解し、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。        期末課題：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問い合わせを提起し、その問い合わせに関するさまざまな考え方を理解した上で、理由を挙げて自分の考え方を自分の言葉で論じることができるかどうか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	哲学とは何か	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.i-iii 教科書②p.i
2	世界が見えるということの謎(1) 感覚と知覚	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.39-56
3	世界が見えるということの謎(2) 因果的説明の困難	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.1-20
4	世界が見えるということの謎(3) 世界へと開かれていること	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.1-14
5	世界が見えるということの謎(4) リアリティとアクチュアリティ	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.57-76
6	有ることと無いこととの関係(1) 見立てと取り合わせ	講義・DVD視聴 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.15-28
7	有ることと無いこととの関係(2) 生成変化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.97-116
8	有ることと無いこととの関係(3) 対象喪失	講義・絵本朗読 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.29-42
9	時間とは何か(1)　過去	講義・DVD視聴 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.165-184
10	時間とは何か(2)　未来	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.237-254

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	時間とは何か (3) 現在	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.209-224
12	身体の重層性 (1) 客体	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.77-96
13	身体の重層性 (2) 媒体	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.75-90
14	身体の重層性 (3) 主体	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.21-38
15	言語の多面性 (1) 呼びかけの経験	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.107-122 中間課題提出
16	言語の多面性 (2) 語るという行為	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.185-200
17	言語の多面性 (3) 世界の表現	講義・詩の朗読 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.123-142
18	感情の力 (1) 世界の開示	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.117-132
19	感情の力 (2) 世界の分割	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.43-56
20	感情の力 (3) 世界の様相	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.217-236
21	自己の成り立ち (1) 明証性と偶然性	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.1-20
22	自己の成り立ち (2) 自己同一性の諸相	講義・詩の朗読 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.91-106
23	自己の成り立ち (3) 自分を物語る	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.57-74
24	他者との関係 (1) 自己と他者の境界	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.143-158
25	他者との関係 (2) 自己と他者の交わり	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.158-176
26	他者との関係 (3) 他者への超越	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.241-258
27	世界に対する態度 (1) 意志と習慣	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.97-116
28	世界に対する態度 (2) 思考と表現	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.201-216
29	世界に対する態度 (3) 住む / 旅する	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.177-192
30	まとめ	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.133-148 期末課題提出

テキスト	①熊野純彦『西洋哲学史—古代から中世へ』(岩波新書) ②熊野純彦『西洋哲学史—近代から現代へ』(岩波新書)
参考書	伊藤邦武『物語 西洋哲学史』(中公新書) 新田義弘『哲学の歴史』(講談社現代新書)
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からぬ点や疑問点がある場合は、質問を歓迎する。

科目名	PHL202: 女性と哲学				担当教員	海老原 晴香
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館 2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	女性のあり方、フェミニズム、ジェンダー、パートナーシップ、対話、自己と他者					
授業の概要	現代世界で女性として豊かに生きる、とはどういうことか。ジェンダーとセクシュアリティ、フェミニズムの概念と歴史を知り、また女性のあり方をめぐるさまざまな問いに焦点を当てながら、女性として生きることの豊かな意味を考えていきたい。「女性」というテーマを通じて自己について、また他者との対話・共生について哲学的に問うていく。現代が直面する問題に向き合いつつ、聖書の人間理解も考察の手だてとする。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>        「現代の日本で女性として豊かに生きるとは」との問いと真剣に向き合い、自らの問題として自分の考えを構築し、表現することができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性理解の歴史的変遷や女性を取り巻く社会的な状況に関心を向け、問題となっていることが何かを把握して、文章や討論発表のかたちで表現することができる。</li> <li>・女性のさまざまなあり方の可能性を知り、他者との対話を通じて自分はどのような道を歩んでいくのかを真剣に問い合わせ、表現することができる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>        出席と授業への積極参加：冒頭のミニクイズ+授業後のリアクションペーパー（60%）        グループでのミニ発表（15%）        2,000字程度の期末レポート（25%）</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に授業に参加し、関心を持ってテーマと向き合うことができているか。</li> <li>・理解できしたこと、疑問が残った点について整理し、自分の言葉で表現できているか。</li> <li>・他者の意見に傾聴し、自分の考えを表明したうえで、わかりやすい発表ができるか。</li> <li>・さまざまに生きる女性たちに共通する点と固有な点などを分析し、「女性の豊かなあり方とは」との問い合わせへの自分の考えを文章に表現できるか。</li> </ul>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業の内容と目的、毎回の進め方、評価方法について	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
2	ジェンダーとそのイメージ1 —「女らしさ」を考察する	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
3	ジェンダーとそのイメージ2 —「男女平等」とはどういうことか	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
4	フェミニズムの哲学 —「女らしさ」から「自分らしさ」へ	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
5	自分らしく、女性らしく生きる1 —ある専門看護師<自己を問う意味>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
6	自分らしく、女性らしく生きる2 —ある管理栄養士<他者へのまなざし>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
7	自分らしく、女性らしく生きる3 —ある女優<異質な他者に学ぶ>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
8	セクシュアリティとジェンダー1 —LGBTというテーマ	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
9	セクシュアリティとジェンダー2 —LGBTについて掘り下げる	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく
10	女性の性と今日的課題1 —いのちの理解と日本の現状	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせを考えておく

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	女性の性と今日的課題2 —サポートセンターColaboの取り組み	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
12	自分らしく、女性らしく生きる4 —あるがん専門看護師<生きる価値>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
13	自分らしく、女性らしく生きる5 —ある訪問管理栄養士<自己と身体>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
14	自分らしく、女性らしく生きる6 —あるソーシャルワーカー<愛と共感>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、ミニ発表を準備する
15	日常の中でのジェンダー理解1【発表】 —女性の職業意識と就職状況	ミニ発表、講義、分かち合い	配布資料を読み、ミニ発表を準備する
16	日常の中でのジェンダー理解2【発表】 —子育て支援をめぐる現状	ミニ発表、講義、分かち合い	配布資料を読み、ミニ発表を準備する
17	日常の中でのジェンダー理解3【発表】 —夫婦同姓、夫婦別姓	ミニ発表、講義、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
18	ライフ・シェアへの課題 —子どもを預ける・子どもを預かる	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
19	女性の視点で聖書を読む試み1 —これまでの読み方、新しい視点	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
20	女性の視点で聖書を読む試み2 —イエスに触れた女性たち	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
21	女性の視点で聖書を読む試み3 —マルタとマリア	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
22	キリスト教の結婚観を見つめる	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
23	豊かなパートナーシップに向かって1 —ジェンダー役割理解の思想的変遷	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
24	豊かなパートナーシップに向かって2 —他者とのライフ・シェアの可能性	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
25	自分らしく、女性らしく生きる7 —見えず、聞こえずとも<言語と対話>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
26	自分らしく、女性らしく生きる8 —頼り、頼られ生きる<共生と依存>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
27	自分らしく、女性らしく生きる9 —ある料理家<他者との共生を育む>	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、講義で出された問い合わせておく
28	自分らしく、女性らしく生きる10 —考える人、ハンナ・アーレントの思索	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、期末レポートを作成する
29	自分らしく、女性らしく生きる11 —映画『ハンナ・アーレント』	講義、映像視聴、分かち合い	配布資料を読み、期末レポートを作成する
30	学期のまとめ —女性の豊かなあり方、生き方とは	講義、映像視聴、分かち合い	【期末レポート提出日】

テキスト	講師が毎回配布する資料、聖書
参考書	竹村和子『思考のフロンティア フェミニズム』(岩波書店) 長島世津子『ライフ・シェアとパートナーシップ<キリスト教女性学>』(門土社) E.アダミヤク(田村和子訳)『沈黙の存在 教会における女性の役割』(サンパウロ)
その他 特記事項	女性をめぐるこれまでの議論や問題と向き合い、自分自身のこれから生き方について積極的に考えていくための時間、という認識で参加してください。

科目名	REL200: 宗教学					担当教員	小林 宏子
開講期	春 / 秋	開講時限	(春)月木1限 (秋)月木4限	研究室	4204	オフィスアワー	火 4 限、木 3 限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	聖書、契約、創造、神の似姿、人間の自由、罪と赦し、隣人愛、苦難の意味						
授業の概要	創世記から福音書までを概観し、聖書に描かれたキリスト教的救いの概念を理解するためには不可欠となる用語とその背景を学ぶ。また、聖書に登場する代表的人物とその出来事の経緯を学び、聖書が描く神観と人間観の特徴を通して、選択の前に立つ人間の自由と責任、信仰と希望、罪と赦し、神の愛と隣人愛の実践について考察し、現代社会の諸問題との接点について話し合う。						
達成目標 および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            西欧社会で常識的教養の中に登場する用語の中で、聖書に起源を持つ語句の本来的意味を知り、キリスト教文化の背後に流れる聖書思想の一端に触れることで、信仰者が抱く救いの希望とその根拠について考察する視点を得ることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聖書やキリスト教に登場する特徴的な用語の意味とその内容を理解し、表現できる</li> <li>聖書を読む場合には、その成立過程や文化背景、更に、信仰者である著者や編者の意図を探りながら読む必要があることを理解すると同時に、聖書とは異文化となる日本文化の理解に役立てることができる。</li> </ul>						
評価方法 および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極的参加 (32%)、単語テスト (2%×14 回=28%)、中間試験 (15%)、期末課題 (2,000~2,500 字のレポート 25%)</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極的参加：毎回の授業内容を正しく把握し、聖書に特異な概念を理解した上で、コメントシートに自分の意見を表現できること。            単語テスト：聖書やキリスト教に起源を持つ英単語の意味を知っていること。            中間課題：聖書に特徴的な用語や思想を説明できること。            期末課題：授業の聖書解釈を踏まえ、聖書に描かれる人間模様と現代社会の諸問題とを関連づけて問い合わせ立て、救いや希望に関する考察の過程を論理的に表現できること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義の概要説明と旧約聖書の基礎知識講義の概要説明と旧約聖書の基礎知識	講義・質疑応答 コメントシート①	教科書 pp.10-30
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	聖書講読・質疑応答 単語テスト①	教科書 pp.31-17 創世記 1 章を読む
3	創世記 2 章 人間の創造	聖書講読、質疑応答 コメントシート②	教科書 pp.38-39 創世記 2 章を読む
4	創世記 3 章 禁断の実と人間の罪	聖書講読、質疑応答 単語テスト②	教科書 pp.40-41 創世記 3 章を読む
5	創世記 4 章 カインとアベルの物語	聖書講読、質疑応答 コメントシート③	教科書 pp.42-43, p.68 創世記 4 章を読む
6	創世記 6-9 章 ノアの洪水物語	聖書講読、質疑応答 単語テスト③	教科書 pp.44-47 創世記 6-9 章を読む
7	創世記 11 章 バベルの塔の物語	聖書講読、DVD 視聴 コメントシート④	教科書 pp.48-49 創世記 11 章を読む
8	創世記 12 章 アブラムの召命	聖書講読、質疑応答 単語テスト④	教科書 pp.50-55 創世記 12 章を読む
9	創世記 15、17 章 契約の思想	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑤	教科書 pp.56-59 創世記 15 章、17 章を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	創世記 18、21 章 信仰の試練	聖書講読、DVD 視聴 単語テスト⑤	教科書 pp.60-67 創世記 18 章、21 章を読む
11	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑥	教科書 pp.69-79 出エジプト記 1-3 章を読む
12	出エジプト記 12 章 過越祭	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑥	教科書 pp.80-84, p.94、出エジプト記 12 章、24 章を読む
13	出エジプト記 20 章 十戒、掟の意味	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑦	教科書 pp.86-93 出エジプト記 20 章を読む
14	サムエル記 8 章 士師記 9 章 士師と王の使命	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑦	教科書 pp.96-111, 117-127 サムエル記 8 章を読む
15	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力 アモス 8 章 預言者の社会批判	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑧	教科書 p.116, p.122-161 指定聖書箇所を読む
16	イザヤ書 52 章 13 節-53 章 バビロン捕囚と預言者の苦しみ	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑧	教科書 pp.162-175 イザヤ書 52:13-53 を読む
17	中間試験 エルサレムへの帰還	中間試験、DVD 視聴	教科書 pp.176-201
18	メシアニズムの成長、新約聖書について	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑨	イザヤ 9 章、11 章を読む
19	イエスが活躍した社会 ユダヤ教の宗派	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑨	マルコ 1 章を読む
20	神の国の宣教	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑩	マタイ 20:1-16、ルカ 18:1-30 を読む
21	奇跡物語、罪の赦し	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑩	マタイ 8:23-9:13 を読む
22	天使と悪魔	聖書講読、DVD 視聴 コメントシート⑪	配布プリントを読む
23	慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑪	ルカ 15 章 1-32 を読む
24	山上の説教	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑫	マタイ 5 章、6:25-34、 7:1-12 を読む
25	隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑫	マタイ 19:16-30、 ルカ 10:25-37 を読む
26	主の祈り	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑬	マタイ 6:1-15、 マタイ 25 章 31-46 を読む
27	最後の晩餐	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑬	マタイ 26:1-56 を読む
28	復活から見た十字架死の意味	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑭	マタイ 26:57-28:20、ヨハネ 19:25-27 を読む
29	復活から見た十字架死の意味	聖書講読、質疑応答 単語テスト⑭	ヨハネ 20:19-29、 ルカ 24:13-53 を読む
30	キリスト教の成立、聖母マリアについて	聖書講読、質疑応答 コメントシート⑮	ルカ 1:26-2:58 講義全体の復習とまとめ

テキスト	雨宮慧『図解雑学 旧約聖書』(ナツメ社) 『新約聖書』(大学から配布されるもの)
参考書	百瀬文晃『キリスト教の原点』(教友社) 足立恵子著ジョン・ベスター訳『英語で話すキリスト教 Q&A』(講談社)
その他 特記事項	人生や宗教について真面目に考える姿勢を持っていること。

科目名	MUS200: 音楽				担当教員	北村 さおり
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	歌唱実技、呼吸、発声、発音、朗読、西洋音楽史、音楽鑑賞					
授業の概要	歌と朗読を実技を通して学ぶ。「歌詞」について考え、実際に演奏を試しながら作品への理解を深める。西洋音楽史を声楽中心にロマン派まで学び、作品の様式や社会的背景などの知識を深める。楽典や和声法など専門知識を必要とする楽曲分析はしない。音楽演奏の経験のない学生でも受講できる。授業のまとめや記述課題を記入した履修ノートは授業の終わりに提出、次回返却後、各自ホルダーに保管する。試験では履修ノートのみ、持ち込み許可とする。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            中世からロマン派までの音楽史の推移を理解し、芸術について考察する。            クリスマス会での朗読劇上演と合唱演奏を目標とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>            発声や体操などのエクササイズにより各自の声の問題点を発見し改善することで、美しい声、読み方、姿勢、発音、表情を習得することができる。クリスマス会にむけて、皆で声を合わせて歌う喜びを知ることができる。音楽史を理解することによって芸術への理解を深め、自己表現の幅を広げることができる。</p>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            履修ノート提出 <math>2\% \times 20\text{回} = 40\%</math>、朗読発表 5%、授業内試験 20%、実技への積極参加と取り組み状況の評価 35%</p> <p><b>【評価基準】</b>            履修ノート：中世からロマン派までの音楽史について整理して記述する。音楽史の推移が理解できているか評価する。            朗読発表：一人ずつ発表。発声、発音、姿勢、取り組み態度を評価する。            授業内試験：音楽史の推移の理解度を評価する。履修ノートのみ持ち込み可            実技への積極参加と取り組み状況の評価：            歌唱技術の評価ではなく、出席など取り組み姿勢を評価する。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義の概要説明、呼吸法、姿勢 校歌（齊唱）	講義、歌唱実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理と復習
2	復習とエクササイズ、発音、発声 学生歌「英知の丘に」	講義、歌唱実技、 ノート記入	ノートの整理と復習
3	復習とエクササイズ、しゃべり方、朗読 学生歌「緑の丘」	講義、歌唱実技、 ノート記入	ノートの整理と復習
4	復習とエクササイズ 学生歌の歌詞解釈、朗読練習	講義、歌唱実技、 ノート記入	ノートの整理と復習
5	復習とエクササイズ 朗読課題の発表	講義、歌唱実技、 ノート記入、発表	ノートの整理と復習
6	中世：グレゴリオ聖歌の鑑賞と歌唱 ルネサンス：教会音楽等	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
7	バロック前期：オペラ、器楽曲等 カッチーニ「アマリッジ」歌唱	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
8	バロック後期：ヘンデル、バッハ	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
9	古典：ハイドン、モーツアルト	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
10	古典：ベートーヴェン	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	前期ロマン派：シユーベルトの歌曲 「野ばら」等歌唱と解釈	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
12	前期ロマン派：シユーマンの歌曲とピアノ 作品等	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
13	後期ロマン派：ブラームス、マーラー、 R. シュトラウス等。歌曲、ドイツオペラ。	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
14	日本の歌：山田耕筰「からたちの花」「赤 とんぼ」歌唱と解釈	講義、歌唱	ノートの整理と復習
15	音楽史のまとめ 授業内試験	講義、試験	ノートの整理と復習
16	クリスマス会の練習 朗読、合唱	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
17	クリスマス会の練習 朗読、合唱	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
18	クリスマス会の練習 朗読、合唱	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
19	クリスマス会の練習 朗読、合唱	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
20	クリスマス会の練習 朗読、合唱	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
21	クリスマス会のリハーサル 合唱、朗読	歌唱・朗読実技	歌唱、朗読
22	イタリアオペラ：ロッシーニ、ドニゼッティ	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
23	イタリアオペラ：ヴェルディ	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
24	オペラ DVD 鑑賞：プッチーニ「ラ・ボエ ーム」全曲（前半）	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
25	オペラ DVD 鑑賞：プッチーニ「ラ・ボエ ーム」全曲（後半）	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
26	バレエ DVD 鑑賞：チャイコフスキイ「白 鳥の湖」全幕（前半）	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
27	バレエ DVD 鑑賞：チャイコフスキイ「白 鳥の湖」全幕（後半）	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
28	授業内試験	試験、講義	ノートの整理と復習
29	DVD 鑑賞：コンサートや音楽祭など	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理と復習
30	総括	講義	ノートの整理と復習

テキスト	楽譜、朗読用テキスト、音楽史年表、音楽史、西洋史、鑑賞資料はプリントを配布する。
参考書	中川右介『3時間でわかる「クラシック音楽」入門』（青春出版） 池田理代子『知識ゼロからのオペラ入門』（幻冬舎）
その他 特記事項	学内で行われるクリスマス会に参加を前提とするが、事情を申し出た者はその限りではない。ピアニストとして実技に参加することも歓迎する。

科目名	SOC200: 社会学				担当教員	柄内 瞳也
開講期	春 / 秋	開講時限	(春)月木3限 (秋)月木4限	研究室	4号館 2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	「社会」、「近代」、社会学的想像力、構造と主体、包摂と排除					
授業の概要	社会学の基本的な学史、理論、概念、方法について学ぶ。そのことに加えて、社会学の諸領域や主要なテーマにも幅広く触れ、具体的な社会現象や今日的な社会問題を検討しながら社会学的な視点の所在について学ぶ。					
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】本科目の目的は、社会学という学問に対する理解を深め、社会学的なものの見方や考え方ができるようになることである。</p> <p>【到達目標】1. 社会学の基本的な学史、理論、概念、方法を正確ないしは適切に理解し説明することができるようになる。2. 社会学の諸領域や主要なテーマがいかなるものであるか理解できるようになる。3. 具体的な社会現象や今日的な社会問題と社会学の理論や概念との関連性を理解することができるようになる。4. 問題関心のあるテーマを設定し、それを社会学的に考察し、自分自身の考えを提示することができるようになる。</p>					
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】1. 授業毎に課すリアクションペーパー（1回目と15回目を除く、28回分で56%）、2. 小テスト（10%）、3. 期末課題レポート（図表含む2,400字以上）（34%）</p> <p>【評価基準】1. リアクションペーパー：毎回の授業内容の理解度（授業内容に対して適切な感想やコメントを寄せているかどうか、あるいは理解できなかった点を整理して質問を寄せているかどうか）、2. 小テスト：設問に対して正確な解答をし、それまでに学んだ内容を理解しているかどうか、3. 期末課題レポート：問題関心のあるテーマを設定したうえで、それを社会学の理論や概念、方法を適切に用いながら考察し、自分自身の考えを提示できているかどうか。また、その際に、適切な参考文献を参照したり、適切なデータを用いるなどしながら、より説得的な論述を行っているかどうか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	社会学を学ぶために①—授業の進め方、文献リストの配付と文献の読み方	講義・質疑応答	問題意識を持って臨む、配付プリントの整理
2	社会学を学ぶために②—〈社会学的想像力〉とは何か	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
3	社会学の誕生と初期社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
4	エミール・デュルケームの社会学—方法論的社会主義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
5	マックス・ウェーバーの社会学—方法論的個人主義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
6	ゲオルグ・ジンメルの社会学—方法論的関係主義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
7	機能主義社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
8	意味学派社会学①—象徴的相互作用論、演劇論的アプローチ	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
9	意味学派社会学②—現象学的社会学、エスノメソドロジー	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
10	地域をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	労働をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
12	ジェンダーをめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
13	家族をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
14	社会運動の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
15	中間的まとめ（30分）・小テスト（60分）	講義・質疑応答・記述式テスト	14回目までの授業内容の復習
16	「つながり」をめぐる社会学—コミュニティとソーシャル・キャピタル	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
17	国際社会とエスニシティの社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
18	メディアをめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
19	社会病理と逸脱の社会学（60分）・小テスト結果の返却と解説（30分）	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
20	階級・階層をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
21	記憶の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
22	関係と距離の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
23	貧困・社会的不平等・格差をめぐる社会学①—「貧困」の概念化	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
24	貧困・社会的不平等・格差をめぐる社会学②—貧困の現存	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
25	貧困・社会的不平等・格差をめぐる社会学③—「社会的不平等」の指標と現在	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
26	貧困・社会的不平等・格差をめぐる社会学④—「格差社会」の諸相	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
27	社会調査について①—意味と意義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
28	社会調査について②—種類と事例	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
29	現代社会の諸相と新しい社会学の潮流	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
30	総括—近代と脱近代、〈時代の診断学〉としての社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	全授業内容の総復習、期末課題レポートの提出

テキスト	特に指定しない。毎回、主に下に挙げた参考書に基づいて作成した授業用プリント（B4、2枚～3枚程度、その他の参考文献がある場合にはその都度明記）を配付する。
参考書	宇都宮京子編『よくわかる社会学（第2版）』（ミネルヴァ書房） 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』（有斐閣）
その他 特記事項	授業初回時に入門者向け文献リストと文献の読み方ガイドを配付する。それらと上に挙げた参考書を参考しながら、授業用プリントと組み合わせて主体的に学んでほしい。

科目名	LAW210: 日本国憲法				担当教員	萩原 伸介
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館 2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	憲法、法制度、人権、法の下の平等、死刑制度、平和主義、統治機構、憲法改正					
授業の概要	社会のなかにある様々な具体的な事例を取り上げ、日本国憲法と関連づけながら諸原理を概観します。まず、「憲法」、「人権」、「民主政治」のあり方を理解し、そのうえで、具体的問題の分析へ、授業は進みます。問題が発生した時、憲法とどのように関連するか自ら分析できるよう導きます。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            リーガルマインドを備えた社会人として活躍するために、日本国憲法を理解することにより、社会で生起する問題を、理論的に分析し解決策を示せるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b>            わが国の法制度、日本国憲法の成立過程、基本原理、人権のとらえ方、平等の原理、各種人権や統治機構について理解し説明することができる。</p>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業毎のリアクションペーパー（30%）、中間課題（1,200字程度のレポート・20%）、期末課題（1,200字程度のレポート2通・40%）、学期終了時に提出する「復習ノート」（10%）。</p> <p><b>【評価基準】</b>            リアクションペーパー：講義内容をふまえた記述になっているか。            中間課題：設題の趣旨を理解した記述になっているか。            期末課題：設題の趣旨を理解し、関連する事例を調べ、論じる記述になっているか。            復習ノート：講義の内容を想起できるノートテイクができているか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業進行・評価の説明 「憲法」とはなにか ——「憲法の意義」	ガイダンス 講義・質疑応答 リアクションペーパー	【復習】復習ノート作成
2	わが国の法制度と憲法 ——憲法規範の特質	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
3	大日本帝国憲法 ——比較対象としての大日本帝国憲法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
4	日本国憲法の制定過程 ——歴史的事実を知る	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
5	日本国憲法の基本原理 ——基本的人権の尊重の意義	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
6	人権総論 ——そもそも「人権」とは	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
7	子どもの人権 ——制限だらけの子どもたち	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 1 の熟読 【復習】復習ノート作成
8	外国人の権利 ——基本的人権は誰のもの？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 2 の熟読 【復習】復習ノート作成
9	プライバシー権 ——ない！条文のどこにも	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 3 の熟読 【復習】復習ノート作成
10	自己決定権 ——毎日が自己決定	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 4 の熟読 【復習】復習ノート作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	法の下の平等（1） ——男と女	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 5 の熟読 【復習】復習ノート作成
12	法の下の平等（2） ——むかし、尊属殺人罪ありき	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 6 の熟読 【復習】復習ノート作成
13	第1回から12回までの確認と中間課題準備——前半小括	講義・質疑応答・作成指導・リアクションペーパー	【準備】復習ノートの整理 【復習】復習ノートの再整理
14	中間課題作成（60分） 講評・振り返り（30分）	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備 【復習】前半小括の再整理
15	信教の自由 ——新興宗教と信教の自由	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 7 の熟読 【復習】復習ノート作成
16	表現の自由（1） ——性表現の自由	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 8 の熟読 【復習】復習ノート作成
17	表現の自由（2） ——犯罪教科書	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 9 の熟読 【復習】復習ノート作成
18	営業の自由 ——銭湯に自由を	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 10 の熟読 【復習】復習ノート作成
19	生存権 ——エアコンのない生活	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 11 の熟読 【復習】復習ノート作成
20	教育を受ける権利 ——教育内容は誰が決めるの？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 12 の熟読 【復習】復習ノート作成
21	死刑制度 ——どこまでも平行線？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 13 の熟読 【復習】復習ノート作成
22	平和主義 ——人権の条件としての平和	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 15 の熟読 【復習】復習ノート作成
23	国会 ——国会議員はどんな人	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 17 の熟読 【復習】復習ノート作成
24	内閣 ——政権交代	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 18 の熟読 【復習】復習ノート作成
25	裁判所 ——黒衣の天使は裁判官	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 19 の熟読 【復習】復習ノート作成
26	司法審査制 ——裁判所の診療科目と方針	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 20 の熟読 【復習】復習ノート作成
27	地方自治 ——民主主義の学校	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 21 の熟読 【復習】復習ノート作成
28	改憲の可能性 ——金婚式を過ぎて	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 22 の熟読 【復習】復習ノート作成
29	期末課題作成【1】（60分） 講評・振り返り（30分）	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備 【復習】復習ノートの再整理
30	期末課題作成【2】（60分） 講評・振り返り（30分） ※「復習ノート」の提出	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備

テキスト	初宿正典 ほか著『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣・アルマ）
参考書	佐藤功著『日本国憲法概説』（日本評論社） 芦部信喜『憲法』（岩波書店）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	LAW200: 法学				担当教員	萩原 伸介
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	法律、法学、憲法、刑法、民法					
授業の概要	人間社会が形成されれば、そこには必ずその社会を規律する「法」秩序が形成・維持され、否応なく人々はそれに拘束されている。法「学」は、社会で機能するその「法秩序」の役割を分析・評価し、より良い社会を築くために努力する、人間の営為の集積である。本講義は、社会の一員として要請されている、法的な知識や、ものの考え方を修得できるように導きます。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            リーガルマインドを備えた社会人として活躍するために、法律学の知識を体系的に理解し、社会で生起する問題を、理論的に分析し解決策を示せるようになる。</p> <p><b>【到達目標】</b>            わが国の、法学の基礎概念をふまえ、具体的な諸法の知識を正確に理解し、説明することができる。</p>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業毎のリアクションペーパー（30%）、授業内試験①（1,200字程度記述式・20%）、授業内試験②（選択式と記述式・50%）</p> <p><b>【評価基準】</b>            リアクションペーパー：講義内容をふまえた記述になっているか。            授業内試験①：設題の趣旨を理解した記述になっているか。            授業内試験②：法学の基礎概念や具体的諸法の知識が修得されているか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業進行・評価の説明 「法学」とはなにか —法「学」の意義	ガイダンス 講義・質疑応答 リアクションペーパー	【復習】教科書目次の確認
2	法とは何か（その1） —法と社会生活・法と道徳	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書7-17頁熟読 【復習】復習ノート作成
3	法とは何か（その2） —法と強制・法の目的・権利と義務	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書17-32頁熟読 【復習】復習ノート作成
4	法の適用（その1） —法と裁判	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書33-48頁熟読 【復習】復習ノート作成
5	法の適用（その2） —裁判の基準となるもの	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書49-65頁熟読 【復習】復習ノート作成
6	法の適用（その3） —法の解釈	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書61-81頁熟読 【復習】復習ノート作成
7	国家と法（その1） —国家と憲法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書94-98頁熟読 【復習】復習ノート作成
8	国家と法（その2） —日本国憲法の基本原理①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書98-102頁熟読 【復習】復習ノート作成
9	国家と法（その3） —日本国憲法の基本原理②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書102-104頁熟読 【復習】復習ノート作成
10	国家と法（その4） —日本国憲法の基本原理③	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書104-106頁熟読 【復習】復習ノート作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	国家と法（その5） —日本国憲法の基本原理④	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 106-109 頁熟読 【復習】復習ノート作成
12	犯罪と法（その1） —犯罪と刑法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 110-112 頁熟読 【復習】復習ノート作成
13	犯罪と法（その2） —刑法の機能	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 112-114 頁熟読 【復習】復習ノート作成
14	犯罪と法（その3） —犯罪の成立要件①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 114-116 頁熟読 【復習】復習ノート作成
15	授業内試験①（60分） 試験出題の趣旨の解説（30分）	試験・講義・ 質疑応答・リアクションペーパー	【準備】試験準備 【復習】復習ノート作成
16	犯罪と法（その4） —犯罪の成立要件②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 116-120 頁熟読 【復習】復習ノート作成
17	犯罪と法（その5） —刑事手続①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 121-123 頁熟読 【復習】復習ノート作成
18	犯罪と法（その6） —刑事手続②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 123-127 頁熟読 【復習】復習ノート作成
19	財産関係と法（その1） —財産法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 141-142 頁熟読 【復習】復習ノート作成
20	財産関係と法（その2） —取引の主体	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 143-145 頁熟読 【復習】復習ノート作成
21	財産関係と法（その3） —取引の客体	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 146-148 頁熟読 【復習】復習ノート作成
22	財産関係と法（その4） —取引の手段としての契約①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 148-150 頁熟読 【復習】復習ノート作成
23	財産関係と法（その5） —取引の手段としての契約②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 150-152 頁熟読 【復習】復習ノート作成
24	財産関係と法（その6） —取引の手段としての契約③	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 152-155 頁熟読 【復習】復習ノート作成
25	財産関係と法（その7） —不法行為による損害賠償請求	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 155-156 頁熟読 【復習】復習ノート作成
26	家族関係と法（その1） —家族法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 128-130 頁熟読 【復習】復習ノート作成
27	家族関係と法（その2） —婚姻と離婚・親子	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 130-137 頁熟読 【復習】復習ノート作成
28	家族関係と法（その3） —扶養・相続	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 137-140 頁熟読 【復習】復習ノート作成
29	授業内試験②（60分） 試験出題の趣旨の解説（30分）	試験・講義・ 質疑応答・リアクションペーパー	【準備】試験準備 【復習】復習ノート作成
30	授業内試験の講評と解説 —法学の基礎概念と知識の修得を確認	講評・講義・質疑応答	【復習】教科書の通読

テキスト	伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣） 編集代表：井上正仁・山下友信『ポケット六法・平成28年版』（有斐閣）
参考書	松本恒雄ら編『日本法への招待』（有斐閣）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	EDU200: 教育学					担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	水3限、金2・5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	発達と教育、教育思想、教育史、教育問題、教育改革、グローバル化と教育						
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い合わせ、教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的、国際的なアプローチから探究することを通して、教育学の基礎理論を学ぶ。さらに、いじめや不登校、外国籍児童の教育など現代の学校教育を取り巻く諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、課題解決の方途を探る。最後に各自が関心のある教育事象を取り上げてレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的、国際的視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察できる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、論述することができる。</li> <li>②現代の教育を取り巻く諸問題の深層を理解し、課題解決の方途を探ることができます。</li> <li>③教育事象に関するレジュメの作成、プレゼンテーションを通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができます。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時に課すリアクションペーパー（30%）、授業内試験（30%）、レジュメ・プレゼンテーション（40%）</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアクションペーパー：論題について授業内容を踏まえて論理的に考察できているか。</li> <li>授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。</li> <li>レジュメ：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。</li> <li>プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、わかりやすく伝える工夫をしているか。</li> </ul>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	教育学とは—教育学の諸分野—	講義・ディスカッション	参考書①はしがきの一読 配布プリントの復習
2	教育の目的とは	講義・ディスカッション	参考書①pp.2-9の一読 配布プリントの復習
3	人間の発達と教育（1）幼児期	講義・ディスカッション	参考書①pp.76-82の一読 配布プリントの復習
4	人間の発達と教育（2）児童期	講義・ディスカッション	参考書①pp.82-83の一読 配布プリントの復習
5	人間の発達と教育（3）青年期	講義・ディスカッション	参考書①pp.83-85の一読 配布プリントの復習
6	道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション	参考書①pp.185-186の一読 配布プリントの復習
7	子ども観・教育観の変遷（1）コメニウス・ロック	講義・ディスカッション	参考書①pp.35-39の一読 配布プリントの復習
8	子ども観・教育観の変遷（2）ルソー	講義・ディスカッション	参考書①pp.39-42の一読 配布プリントの復習
9	子ども観・教育観の変遷（3）デューイ	講義・ディスカッション	参考書①pp.50-52の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	幼児教育の思想 (1) フレーベル	講義・ディスカッション	参考書①pp.50-52の一読 配布プリントの復習
11	幼児教育の思想 (2) モンテッソーリ	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	参考書①pp.101-108の一読 配布プリントの復習
12	明治期の教育 (1) 一欧米教育情報の受容と近代学校の誕生—	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	参考書①pp.57-62の一読 配布プリント復習
13	明治期の教育 (2) 一義務教育制度の成立—	講義・ディスカッション	参考書①pp.62-65の一読 配布プリントの復習
14	大正期の教育一大正新教育運動の展開—	講義・ディスカッション	参考書①pp.66-67の一読 配布プリントの復習
15	昭和期の教育—戦後の教育制度改革と学歴主義社会の成立—	講義・ディスカッション	参考書①pp.67-72の一読 配布プリントの復習
16	現代日本の教育改革—学歴主義社会の改革と生涯学習の推進—	講義・ディスカッション	参考書①pp.173-177の一読 配布プリントの復習
17	世界の教育制度	講義・ディスカッション	諸外国の教育制度を調べる 配布プリントの復習
18	世界の自由教育	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	参考書①pp.85-88の一読 配布プリントの復習
19	教師論	講義・ディスカッション	参考書①pp.179-181の一読 配布プリントの復習
20	カリキュラム論	講義・ディスカッション	参考書①pp.145-150の一読 配布プリントの復習
21	教育方法論—教育方法の日米比較—	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	配布プリントの一読と 復習
22	メディアと教育	講義・ディスカッション	子どもとメディアについて 調べる、プリントの復習
23	グローバル化と教育 (1) PISA 型学力	講義・ディスカッション	PISAについて調べる 配布プリントの復習
24	グローバル化と教育 (2) 国際理解教育	講義・ディスカッション	配布プリントの一読と 復習
25	グローバル化と教育 (3) シティズンシップ教育	講義・ディスカッション	日本の市民教育を調べる 配布プリントの復習
26	小括・授業内試験 (60 分)	講義・質疑応答・ 授業内試験	25回目までの授業内容の復 習
27	学校教育の今日的課題 (1) いじめ	講義・口頭発表・ 講評	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
28	学校教育の今日的課題 (2) 不登校	講義・口頭発表・ 講評	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
29	学校教育の今日的課題 (3) 学級崩壊	講義・口頭発表・ 講評	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
30	学校教育の今日的課題 (4) 特別支援教育	講義・口頭発表・ 講評	口頭発表の準備 配布レジュメの復習

テキスト	なし、毎回書き込み式講義ノートと資料を配布する。
参考書	①広岡義之編著『新しい教育原理』第2版（ミネルヴァ書房） ②田嶋一・中野新之祐他『やさしい教育原理』新版補訂版（有斐閣）

科目名	EDU200: 教育学				担当教員	栗原 麗羅
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	教育原理、教育問題、諸外国の教育、多文化教育					
授業の概要	思想的、歴史的、社会学的なアプローチから「教育・学校とは何か」という問いに取り組むとともに、教育学の基礎理論を学ぶ。さらに、国内外における学校教育や多文化教育に関する課題を取り上げ、多文化共生社会を迎える現代の教育に関する理解を深める。また、授業毎のグループディスカッションと、各自が関心のある教育事象に関するブックレポートの作成およびプレゼンテーションを行う。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            教育の概念や教育問題についての考察および議論を行うことで、教育学に関する知識を深める。また、教育事象に関して論理的、批判的に分析し、その結果を文章および口頭で発表する能力を身に付ける。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育に関する自身の考えを論述したリアクションペーパーを作成することで、授業およびグループディスカッションでの学びを省察できる。</li> <li>②自分が関心を持つ教育事象に関して考察を行い、ブックレポートおよびプレゼンテーションの形で発表できる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時に課すリアクションペーパー（40%）、ブックレポート（30%）、プレゼンテーション（30%）</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアクションペーパー：授業内容に関する問い合わせを、授業およびグループディスカッションで学んだ点を基に、自身の言葉で述べることができたか。</li> <li>ブックレポート：文献の要点をおさえた要約を作成することができたか。著者の主張に対する賛否およびその理由を自身の立場・意見を踏まえて論述することができたか。</li> <li>プレゼンテーション：教育学に関する研究課題を設定して行った研究の内容を、レジュメを用いて論理的に発表することができたか。</li> </ul>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	教育学とは何か	講義、グループディスカッション	テキスト pp.1-8
2	教育の制度	講義、グループディスカッション	テキスト pp.181-195
3	学校接続と中等・高等教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.197-209
4	海外の学校制度	講義、グループディスカッション	配布プリント
5	進路指導／キャリア教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.210-217
6	社会教育と生涯学習	講義、グループディスカッション	テキスト pp.218-222
7	子どもの学習と参加の権利	講義、グループディスカッション	テキスト pp.225-231
8	日本における多文化教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.232-240
9	海外における多文化教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.232-240 配布プリント

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	特別ニーズ教育／インクルーシブ教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.241-248
11	グローバリゼーションと教育開発 シティズンシップ	講義、グループディスカッション	テキスト pp.249-262
12	道徳教育の変化	講義、グループディスカッション	配布プリント
13	教育とは何か—教育の概念	講義、グループディスカッション	テキスト pp.9-20
14	子ども観 人間の発達と教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.21-36
15	学校とは何か—近代学校の成立と特徴	講義、グループディスカッション	テキスト pp.37-48
16	国民国家と教育 社会変化と教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.49-63
17	近代の教育思想	講義、グループディスカッション	テキスト pp.65-73
18	ジェンダーとセクシュアリティ	講義、グループディスカッション	テキスト pp.74-80
19	リテラシーと教養	講義、グループディスカッション	テキスト pp.81-88
20	学ぶということ	講義、グループディスカッション	テキスト pp.89-100
21	目標・評価・学力	講義、グループディスカッション	テキスト pp.101-109
22	カリキュラム開発	講義、グループディスカッション	テキスト pp.110-118
23	学習の過程と形態	講義、グループディスカッション	テキスト pp.119-129
24	メディアとしての教材と教科書 学びの空間のデザイン	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.130-144
25	生活指導	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.145-156
26	教育相談	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.157-164
27	いじめ問題	講義、学生発表（プレゼンテーション）	配布プリント
28	教師の力量とアイデンティティの形成	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.165-174
29	教職の専門職化	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.175-180
30	授業のまとめと振り返り	講義、質疑応答	授業内容の復習

テキスト	木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』（有斐閣）
参考書	田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二『やさしい教育原理 新版補訂版』（有斐閣アルマ）

科目名	ECN200: 経済学					担当教員	白瀬 宗範
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	経済学、価格理論、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済学のための数学						
授業の概要	経済学の基礎を学びます。価格理論、ミクロ経済学、マクロ経済学といった各分野を概観し、その理解に必要な数学も学習します。新聞記事なども利用し、理論だけでなく、現実の経済問題への応用も取り入れます。数学や計算の小テストを数多く取り入れます。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 経済事象を論理的に理解し、他者に説明することができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学の基礎理論を理解する。</li> <li>・現実の経済問題を経済学の理論で理解できる。</li> <li>・日々の経済事象に興味を持ち、経済学の理論で説明できる。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業内の各テストの合計70%、授業参加（毎回、教員側から適宜、指名し質問するので、その応答を評価します。）30%。</p> <p><b>【評価基準】</b> テスト：設問に対し経済学の理論を使って説明できているか。 授業参加：授業内容を理解し、その内容を説明できるか。また、学生同士の討論に積極的に参加しているか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス、経済学の学び方、参考書紹介	講義、質疑応答	次回範囲の予習
2	経済学のための計算・数学①	講義、演習	練習問題あり
3	経済学が対象とする分野	講義、質疑応答	次回範囲の予習
4	ミクロ経済学／価格理論①需要と価格	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第1章）
5	ミクロ経済学／価格理論②供給と価格	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第2章）
6	ミクロ経済学／価格理論③各曲線のシフト	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第2章、第3章）
7	ミクロ経済学／価格理論④価格の決定	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第2章、第3章）
8	ミクロ経済学／価格理論⑤応用	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第2章、第3章）
9	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認
10	経済学のための計算・数学②／①の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	ミクロ経済学／弾力性①弾力性とは	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第3章）
12	ミクロ経済学／弾力性②需給曲線と弾力性	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第3章）
13	ミクロ経済学／弾力性③弾力性の応用	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第3章）
14	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ①市場経済、貨幣	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第5章）
15	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ②資源配分	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第5章）
16	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ③所得分配	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第5章）
17	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認
18	経済学のための計算・数学③／②の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題
19	マクロ経済学①GDP入門	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第6章）
20	マクロ経済学②GDPの構成	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第6章）
21	マクロ経済学③財政政策	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第7章）
22	マクロ経済学④金融政策	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第7章）
23	マクロ経済学⑤為替レートの研究	講義、質疑応答	教科書と照合、予習（第7章）
24	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認
25	経済学のための計算・数学④／③の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題
26	経済学の諸問題／途上国支援・DVD	DVD視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
27	経済学の諸問題／日本経済①・DVD	DVD視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
28	経済学の諸問題／日本経済②・DVD	DVD視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
29	総合テストとこれまでの復習	講義、テスト演習	理解度の確認
30	これまで学習した内容に関する質疑応答とディスカッション	講義・ディスカッション	ディスカッションの準備

テキスト	岩田規久男『経済学への招待』(新世社)
参考書	岩田規久男『経済学を学ぶ』(ちくま新書)

科目名	BUS200: 経営学				担当教員	白瀬 宗範
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	経営学、戦略論、組織論、マーケティング、財務分析					
授業の概要	経営学の基礎を学びます。企業理論の基礎から始まり、広範な経営学の理論を体系的に概観します。理論だけでなくケーススタディも重視し、映像や新聞記事などの各種コンテンツも活用します。経済学同様、数字やデータの取り扱いも重要であるため、経営学のための数学、統計学の基礎も学習する予定です。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 経営学の基礎理論を学習することで、企業活動を理論的に理解する。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学各分野の基礎理論を理解する。</li> <li>・企業活動をケーススタディとして、理解を深める。</li> <li>・社会における企業の役割に興味を持ち、自分なりの企業観を育てる。</li> </ul>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 期末レポート30%、授業内テスト40%、授業参加（毎回、教員側から適宜、指名し質問するので、その応答を評価します。）30%。</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末レポート：設題について学習した内容を踏まえて論理的に論述できているか。また、参考文献リストの添付など、適切な書式で提出しているか。</li> <li>・授業参加：授業内容を理解し、その内容を説明できるか。また、学生同士の討論に積極的に参加しているか。</li> </ul>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス、経営学の学び方、参考書紹介	講義、質疑応答	次回範囲の予習
2	経営学の基礎①ビジネス記事の読み方	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
3	経営学の基礎②株式会社とは	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
4	経営学の基礎③日本の経営の実例	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
5	経営学のための数学①百分率と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
6	経営戦略論①ビジョンとは	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
7	経営戦略論②戦略とストーリー	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
8	経営戦略論③戦略実例	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
9	経営学のための数学②速度算と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
10	マーケティング①ターゲティング	講義、質疑応答	教科書と照合、予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	マーケティング②マーケティング手法	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
12	マーケティング③マーケティングの実例	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
13	これまでの復習と中間テスト	講義、小テスト	模範解答と照合
14	経営組織論①モチベーション	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
15	経営組織論②リーダーシップ	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
16	経営組織論③チームワーク	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
17	経営学のための数学③損益算と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
18	会計学&財務分析①財務諸表	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
19	会計学&財務分析②財務分析	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
20	会計学&財務分析③練習問題による演習	講義、質疑応答	教科書と照合、予習
21	経営学のための数学、小テストとこれまでの復習	講義、小テスト	模範解答と照合
22	これまでの復習と中間テスト	講義、小テスト	模範解答と照合
23	ケーススタディ①コンプライアンス	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
24	ケーススタディ②CSR	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
25	ケーススタディ③ディズニーランド	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
26	ケーススタディ④日本企業の歴史	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
27	レポート・プレゼンテーションと演習①	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
28	レポート・プレゼンテーションと演習②	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
29	レポート・プレゼンテーションと演習③	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
30	総評とレポート提出	講義、質疑応答	各自の理解確認

テキスト	特に指定しません。適宜プリント（経営学各分野の基礎、関連記事、ケーススタディ等に関する資料）を配布します。
参考書	榎原清則『経営学入門（上）（下）』（日経文庫）

科目名	SWF200: 社会福祉入門					担当教員	森澤 陽子
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	社会福祉の基礎的概念 社会福祉実践 ソーシャルワーク						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉の実践分野と大枠を理解する。</li> <li>社会福祉の基本理念、根拠となる思想、主な法律の概要を知る。</li> <li>グループワークによるケーススタディーを行い、ソーシャルワーカーの仕事から各実践分野の取り組みを知り、社会福祉分野における実際の仕事を理解する。</li> </ul>						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会福祉が人権・人間の尊厳を尊重する実践と発展過程であることを検証する。</li> <li>人のライフステージにおける生活課題と社会福祉の支援を理解する。</li> </ol> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>社会福祉の実践枠組みを学び、現代社会の福祉問題を考察することで、福祉的視点を獲得する。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2回の小試験 70%</li> <li>② 指定時の小レポートとグループワークへの参加度と研究発表時の評価 30%</li> </ol> <p><b>【評価基準】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業で学んだことと考察が述べられているか。</li> <li>グループワークに積極的に参加し、討論・発表で学びと成果を提示できたか。</li> <li>社会福祉の基礎的な概念と制度とその理念の概要を理解したか。</li> </ol>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	社会福祉の扉を開こう	オリエンテーション	シラバスを確認する
2	社会福祉の基礎概念 1 社会福祉という考え方	講義 パワーポイント 以下⑧	テキスト (以下Tと記載) pp.2-6
3	社会福祉の基礎概念 2 社会福祉と人権・権利	講義 ⑧	T pp.6-11
4	社会福祉の基礎概念 3 社会福祉の援助・その対象	講義	T pp.12-20
5	社会福祉をとりまく状況	講義	T pp.22-28
6	貧困と現代の貧困	講義とディスカッション	T pp.28-31 プリント資料
7	事例による貧困家族の検証	グループワーク	討議のまとめと発表
8	社会福祉の歴史と展開 欧米諸国 1 英 福祉国家の成立	講義 ⑧	T p.40
9	社会福祉の歴史と展開 欧米諸国 2 米 社会保障法の成立	講義	授業時に事例プリント配布
10	社会福祉の歴史と展開 日本 1 戦前から社会福祉法成立まで	講義	T pp.34-35
11	社会福祉の歴史と展開 日本 2 社会福祉基礎構造改革と地域福祉推進	講義	T pp.36-39

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	社会保障の機能と体系	講義	T pp.102-107
13	生存権の保障	講義	T pp.108-109
14	事例による分野の理解 子ども家庭福祉	事例検討のグループワーク①	配布プリントを読む
15	事例による分野の理解 子ども家庭福祉	事例検討のグループワーク② 発表	T 討議の発表を準備
16	子どもの権利と条約	講義	pp.124-125
17	女性と福祉 ライフ・サイクルから	講義とディスカッション	プリントを読む T pp.142-143
18	社会福祉の援助と方法 ソーシャルワークとソーシャルワーカー	講義	T pp.78-84
19	ソーシャルワーカーの役割と機能 アメリカのソーシャルワーカーの現状	講義とグループワーク	プリントを読む
20	事例による分野の理解 障害者の福祉 身体・知的・精神の各分野を知る	事例検討のグループワーク①	指定個所を読む 次回まで課題を調べる
21	事例による分野の理解 障害者の福祉 グループで分野を絞り研究	事例検討のグループワーク②	研究とディスカッション
22	事例による分野の理解 障害者の福祉 研究内容を発表	前2回で討議し、各自研究した内容を発表	他グループと自分の内容に関して感想提出
23	障害のある人の生活 スウェーデンのある障害者の人生	DVD鑑賞	感想提出
24	リハビリテーションとは 語義と理念	講義 ◎	T p.184
25	地域福祉の概念 ソーシャル・インクルージョン	講義 ◎	T pp.186.208.209
26	面接の技法と高齢者への支援 1 基礎編	DVD鑑賞 A	学んだことを纏める
27	面接の技法と高齢者への支援 2 発展編	DVD鑑賞 B	纏めた感想を書く
28	国際福祉の現状と課題等	講義	T pp.214-215
29	小試験	試験実施	告知の箇所を復習して臨む
30	試験の解説 医療福祉におけるソーシャルワーカー	まとめの講義	T pp.221-222

テキスト	山縣文治 岡田忠克 編『よくわかる社会福祉第8版』(ミネルヴァ書房)
参考書	授業内で資料配布。
履修条件、前提科目	社会福祉を学ぶ意欲と演習に積極的に参加する意欲がある事。
その他 特記事項	受講人数が多い場合はグループも多くなるため、事例検討の発表が次回に跨る事態が生じる。そのためその後の内容は必要に応じ変更する。

科目名	JRN201: マスメディア論				担当教員	沈 霽虹
開講期	春 / 秋	開講時限	月木5限	研究室	4号館 2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	マスメディアの歴史、メディア理論、ジャーナリズム、メディアリテラシー、情報社会、東アジアのマスメディア					
授業の概要	現代社会は情報に溢れた社会、それも<高度情報社会>と言われている。一人一人に情報をもたらしてくれる流通経路がある。情報の流通経路というと、通常、テレビ、新聞などマスメディアを言うが、インターネットの普及によって、その影響力も軽視することができない。この講義は、マスメディアの歴史、理論をベースにし、現代情報社会の視点からマスメディアを考察する。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            マスメディア歴史、理論、現状を理解する上で、ニュースに能動的に接し、メディアリテラシーを高める。</p> <p><b>【到達目標】</b>            この授業を通じて、メディアの歴史や理論を学びながら、高度情報化社会の中で、情報、ニュースに対する正確な理解、批判能力を身につける。同時に日本だけではなく、中国、香港、台湾、シンガポールなどの東アジアのマスメディア状況、ニュース報道などについて、理解できるようになる。</p>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶出席・リアクションペーパー (40%)、▶ワークショップ (20%)、▶課題レポート (15%)、</li> <li>▶期末のレポート (25%)</li> </ul> <p><b>【評価基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶出席・リアクションペーパー：毎回、講義の要点、自分の意見を分かりやすく説明しているか。</li> <li>▶ワークショップ：①新聞記事の紹介、②テレビニュースを事例に議論、③SNS やブログを事例に議論、などの活動ができているか。</li> <li>▶課題レポート：講義で学んだ理論、概念を用いて、レポート (6月末、1,000 文字以上) を書くことができたか。</li> <li>▶期末のレポート：全体の授業を通じて、メディアに対して自分なりの感想、意見、提案を書くことができたか (2,000 文字以上)。</li> </ul>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション マスメディアとは何か	授業内容の紹介・講義 リアクションペーパー	参考書の紹介
2	マスメディア論の系譜 I : メディア理論の歴史と発展 (欧米)	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
3	マスメディア論の系譜 II : メディア理論の展開 (日本)	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
4	活字メディア 1 : 新聞	講義 (資料配布)・リアクションペーパー	次回講義資料予習
5	活字メディア 2 : 雑誌	講義 (資料配布)・リアクションペーパー	次回講義資料予習
6	活字メディア 3 : 新聞ジャーナリズム	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
7	活字メディア 4 : 日本の現状 (新聞・雑誌)	講義・リアクションペーパー	ワークショップ準備
8	活字メディア 5 : 東アジア諸国・地域 (中国・香港・シンガポール・台湾) の現状	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
9	ワークショップ 1 : 新聞記事の紹介	ワークショップ・ディスカッション	次回講義資料予習
10	電子メディア 1 : 映画	講義 (映像)・リアクションペーパー	次回講義資料予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	電子メディア2：放送（ラジオ・テレビ）	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
12	電子メディア3：放送ジャーナリズム（テレビ）	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
13	電子メディア4：日本（映画、テレビ）	講義（写真、映像）・リアクションペーパー	ワークショップ準備
14	電子メディア5：東アジア諸国・地域の現状（中国・香港・シンガポール・台湾）の現状	講義（写真、映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
15	ワークショップ2：テレビニュースを事例に議論	ワークショップ・ディスカッション	次回講義資料予習
16	情報社会とインターネット1：メディアとしてのコンピュータ	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
17	情報社会とインターネット2：インターネットと社会	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
18	情報社会とインターネット3：SNSの社会影響力	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
19	情報社会とインターネット4：日本の現状	講義・リアクションペーパー	ワークショップの準備
20	情報社会とインターネット5：東アジア諸国・地域（中国・香港・シンガポール・台湾）の現状	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
21	ワークショップ3：SNS、ブログを事例に議論	ワークショップ・ディスカッション	次回講義資料予習
22	個別テーマ1：メディアと政治	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
23	個別テーマ2：メディアと文化	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
24	個別テーマ3：メディアと社会	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
25	個別テーマ4：メディアリテラシー	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
26	個別テーマ5：グローバルメディア	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
27	マスマディア論の再考1：ニューメディア論（技術・産業）	講義・リアクションペーパー	課題レポートの提出
28	マスマディア論の再考2：先進諸国の現状（制度・政策・産業）、日本を事例に	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
29	マスマディア論の再考3：発展途上国の現状（制度・政策・産業）中国を事例に	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
30	総括：マスマディアの展望	講義・リアクションペーパー	最終レポートの準備

テキスト	指定テキストは使用せず、プリントおよび関連資料を配布する
参考書	吉見俊哉『メディア文化論』（有斐閣アルマ） 吉見俊哉・水越伸『メディア論』（放送大学教育振興会） 田崎篤郎・児島和人『マス・コミュニケーション効果研究の展開』（北樹出版）
その他 特記事項	関心を持って、常に新聞を読むことと、テレビニュースを見ること。

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習				担当教員	森本 貴之
開講期	春	開講時限	火2限 火3限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	コンピューター、情報リテラシー、情報処理、Word、Excel、PowerPoint					
授業の概要	コンピューターを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。また、ネット上におけるモラルやセキュリティをはじめとする、知っておくべき情報リテラシーについて学ぶ。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            大学生として社会人として要求されるコンピューターを利用した情報処理の基本を身につけることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報分野における基本的かつ汎用的なリテラシーを習得する。</li> <li>・ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践する。</li> <li>・文書作成、データ処理、プレゼンテーションのためのソフトウェアの基本操作を習得する。</li> </ul>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業ごとの演習課題 55%、各单元末の総合課題 45%（内訳：Word を使用したレポート作成 15%、Excel を使用したデータ処理 15%、PowerPoint を使用したプレゼンテーションの実演 15%）</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業ごとの演習課題：授業で解説された情報リテラシーおよびソフトウェアの操作がどれだけ理解・実践できているか。            レポート作成：必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられるかどうか。            データ処理：様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか。            プrezenテーションの実演：集めた情報を基に発表のための資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	PC (Windows) の基本操作	PC 実習、解説	PC アカウントの準備
2	Word による文書作成 (1) Word の基本操作、基本的な文書の作成	PC 実習、解説	テキストの通読
3	Word による文書作成 (2) 文書の編集、書式設定等	PC 実習、解説	前回課題の作成
4	Word による文書作成 (3) 表の作成・編集、図の挿入等	PC 実習、解説	前回課題の作成
5	Word による文書作成 (4) 英語文書の作成、総合演習	PC 実習、解説	前回課題の作成
6	Excel による表計算 (1) Excel の基本操作、表の作成・編集	PC 実習、解説	前回課題の作成
7	Excel による表計算 (2) 関数の利用等	PC 実習、解説	前回課題の作成
8	Excel による表計算 (3) データ処理と統計処理	PC 実習、解説	前回課題の作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	Excelによる表計算（4） グラフの作成	PC実習、解説	前回課題の作成
10	Excelによる表計算（5） 条件付き書式等、総合演習	PC実習、解説	前回課題の作成
11	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成（1）	PC実習、解説	前回課題の作成
12	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成（2）	PC実習、解説	前回課題の作成
13	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成（3）	PC実習、解説	前回課題の作成
14	PowerPointによるプレゼンテーションの実演（1）	発表、相互評価	プレゼンテーション資料の作成および発表の準備
15	PowerPointによるプレゼンテーションの実演（2）	発表、相互評価	プレゼンテーション資料の作成および発表の準備

テキスト	久野靖、佐藤義弘、辰巳丈夫、中野由章 監修 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2015』（日経 BP 社）
参考書	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習				担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	火3限 金3限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	情報処理、情報リテラシー、Office、Word、Excel、PowerPoint、Html					
授業の概要	PCの基本的な操作を学ぶ（主にタイピング）。           Word、Excel、PowerPointの基本的な操作を学ぶ。           Htmlの学習を通じてインターネットの仕組みを学ぶ。           情報リテラシーについて学ぶ。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            タッチタイピングを身につける。            Word、Excel、PowerPointの基本的な操作を身につける。            Webページ作成の基礎を身につける。</p> <p><b>【到達目標】</b>            短時間に正確な入力作業を行うことができる。            Word、Excel、PowerPointの基本的な機能を用いた資料の作成を行うことができる（レポート、資料の整理、発表資料）。            シンプルなWebページを作成することができる。</p>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            タイピング課題：            タイピングソフトを用いた測定を行う。            評価における点数は設けず、ある一定基準を超えることを必須とする。            測定は何度も行う。</p> <p>演習課題：            各授業ごとに演習課題を授業中に提出してもらう。            評価における点数は設けず、未提出は欠席とみなす。</p> <p>各単元末の提出課題：            単元を            テキストエディタ、Word、Excel、PowerPoint、Htmlと分け、            各単元末にレポートを課す。</p> <p><b>【評価基準】</b>            各単元末の提出課題の提出率で評価を行う（100%）。            指示通りに作成されていない場合は再提出を求める。            再提出の回数は評価に影響させないが、各再提出の期限は厳守すること。            最終的に指示通りに作成された課題を提出さえすればよい。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	PC（Windows）の基本操作	PC実習、解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング（1）	PC実習、解説	前回内容の復習
3	テキストエディタによる文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC実習、解説	前回内容の復習
4	Wordによる文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC実習、解説	前回課題の提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	Wordによる文章作成： 総合演習	PC実習、解説	前回内容の復習
6	Excelによる表計算： 基本的な操作方法を学ぶ	PC実習、解説	前回課題の提出
7	Excelによる表計算： 関数の利用、相対参照、絶対参照など	PC実習、解説	前回内容の復習
8	Excelによる表計算： 総合演習	PC実習、解説	前回内容の復習
9	PowerPointによる資料の作成： 基本的な操作と書き方を学ぶ（1） スライド作成の基本など	PC実習、解説	前回課題の提出
10	PowerPointによる資料の作成： 基本的な操作と書き方を学ぶ（2） グラフや図、図表の挿入など	PC実習、解説	前回内容の復習
11	PowerPointによる資料の作成：総合演習 キーボード操作とタイピング（2）	PC実習、解説	前回内容の復習
12	HTMLによるWebページの作成： インターネットの仕組み	PC実習、解説	前回課題の提出
13	HTMLによるWebページの作成： HTMLの書き方（1） HTML文章の基本構造を学ぶ	PC実習、解説	前回内容の復習
14	HTMLによるWebページの作成： HTMLの書き方（2） 画像の表示、リンク関係など	PC実習、解説	前回内容の復習
15	HTMLによるWebページの作成： 総合演習 キーボード操作とタイピング（3）	PC実習、解説	課題の提出

テキスト	『学生に役立つWord & Excel & PowerPoint』（FOM出版）
参考書	久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章 監修 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス2015』（日経BP社）

科目名	MTH200: 数学					担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4号館 2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	数学、統計学、適性検査、SPI、非言語能力、数的処理						
授業の概要	<p>本授業では大学における統計学の入門コースで学ぶ内容（授業計画参照）をできるかぎりやさしく解説する。また、適性検査・SPIなどにおいて出題される非言語能力（数学）の問題についての解説も行う。共に演習を多く行う。</p> <p>統計学とは、大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータの性質を調べることで元の大きなデータの性質を推測する方法を体系化したものである。</p>						
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統計学とは何か、統計学を用いると何ができるようになるのかを知る。</li> <li>就職試験で必要とされる数学の知識が何であるかを知る。</li> </ul> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集したデータの平均や分散、標準偏差などを計算することでデータの性質を把握することができる。（記述統計）</li> <li>大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータに対し推定・検定の計算をすることで元の大きなデータの性質を把握することができる。（推測統計）</li> <li>就職試験における数学の問題を短時間で解くことができる。</li> </ul>						
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b></p> <p>毎回の授業において演習課題の提出もしくは試験を行う。</p> <p>演習：60%</p> <p>試験：40%</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <p>試験及び演習課題の得点で評価を行う。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	統計学について 適性試験・SPIについて	講義、演習	ノートの準備
2	統計学： 度数分布、平均値	講義、演習	前回内容の復習
3	適性試験・SPI： 推論、集合	講義、演習	前回内容の復習
4	統計学： 分散と標準偏差	講義、演習	前回内容の復習
5	統計学： 母集団と標本	講義、演習	前回内容の復習
6	適性試験・SPI： 場合の数、確率	講義、演習	前回内容の復習
7	統計学： 区間推定と信頼区間	講義、演習	前回内容の復習
8	統計学： 区間推定と信頼区間（問題演習）	講義、演習	前回内容の復習
9	適性試験・SPI： 損益算、速度算	講義、演習	前回内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	統計学： 2項分布と正規分布	講義、演習	前回内容の復習
11	統計学： 2項分布と正規分布（問題演習）	講義、演習	前回内容の復習
12	適性試験・SPI： 年齢算、通過算	講義、演習	前回内容の復習
13	第1回から第12回までの問題演習 (統計学)	演習	前回内容の復習
14	第1回から第12回までの問題演習 (適性試験・SPI)	演習	前回内容の復習
15	適性試験・SPI： 表と資料の読み取り	講義、演習	前回内容の復習
16	統計学： 仮説検定の考え方、帰無仮説と対立仮説	講義、演習	前回内容の復習
17	統計学： カイ2乗検定	講義、演習	前回内容の復習
18	適性試験・SPI： 代金の精算、料金の割引	講義、演習	前回内容の復習
19	統計学： t検定（対応なし）	講義、演習	前回内容の復習
20	統計学： t検定（対応なし）（問題演習）	講義、演習	前回内容の復習
21	適性試験・SPI： 割合の計算、分割払い	講義、演習	前回内容の復習
22	統計学： t検定（対応あり）	講義、演習	前回内容の復習
23	統計学： t検定（対応あり）（問題演習）	講義、演習	前回内容の復習
24	適性試験・SPI： 装置と回路、物の流れと比率	講義、演習	前回内容の復習
25	統計学： 分散分析	講義、演習	前回内容の復習
26	統計学： 分散分析（問題演習）	講義、演習	前回内容の復習
27	適性試験・SPI： 不等式と領域、整数の推理	講義、演習	前回内容の復習
28	第15回から第27回までの問題演習 (統計学)	演習	前回内容の復習
29	第15回から第27回までの問題演習 (適性試験・SPI)	演習	前回内容の復習
30	最後のまとめ	講義、演習	前回内容の復習

テキスト	向後千春、富永敦子著『統計学がわかる』(技術評論社)
参考書	石井俊全『意味がわかる統計学』(ベレ出版)

科目名	PSY200: 心理学				担当教員	森崎 ひろみ
開講期	春	開講時間	月木5限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	心理学、人格、知覚、行動、認知、発達、社会、臨床					
授業の概要	心理学の幅広い領域を概観しながら、人間の心について、心理学的な視点から理解を深めます。基本的に講義形式ですが、事前に行った予習から疑問や関心について授業で発表する機会を設けます。なるべく多くの発言を期待しています。また、授業内で関連ある話題や参考図書を紹介します。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 心理学の知識を理解することを通じて、人のこころや行動について理解を深めることを目的とします。さらに、主な心理学領域の知見に触れて、専門性を探求し、将来の職業選択の可能性を広げるなど、日頃の人間理解や社会生活に応用する基礎をつくります。</p> <p><b>【到達目標】</b> 心理学の基本的な用語や知識を習得すること、心理学的思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、現代心理学の臨床的な問題を身近な問題として考え、学んだ知識を応用できるようになること</p>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業毎のリアクションペーパー50% 中間課題（1,000字程度のレポートを2回）30% 期末課題（2,000字程度のレポートを1回）20%</p> <p><b>【評価基準】</b> リアクションペーパー：授業で学習したポイントを理解し、自分の視点から適切にまとめ展開できることを評価する。      中間課題：設問について正しく理解して自分の言葉で論述展開できることを評価する。      期末課題：心理学の基礎的な知識を理解した上で、一つのテーマを選び、自分なりに調べ論述展開できることを評価する。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	心理学概論 オリエンテーション 心理学とは	講義 リアクションペーパー	ノート準備
2	心理学の歴史（1） 心理学の成立	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.1-16 の予習
3	心理学の歴史（2） 心理学の発展	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.1-16 の予習
4	人格心理学（1） 人格とは	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.19-50 の予習
5	人格心理学（2） 人格の理論と展開	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.19-50 の予習
6	発達心理学（1） 発達心理学の成立	講義 発表 リアクションペーパー	テキスト pp.51-67 の予習
7	発達心理学（2） 生涯発達心理学への展開	講義 発表 リアクションペーパー	テキスト pp.51-67 の予習
8	深層心理学（1） 精神分析とその発展	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.69-92 の予習
9	深層心理学（2） その他の深層心理学	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.69-92 の予習
10	人間性心理学（1） 人間性心理学の成立	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.93-112 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	人間性心理学（2） 人間性心理学とカウンセリング	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.93-112 の予習
12	心理測定（1） 心理測定の基礎	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.113-141 の予習
13	心理測定（2） 心理測定の方法	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.113-141 の予習 中間（第1回）レポート提出
14	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
15	実験心理学 実験心理学とは	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.145-150 の予習
16	感覚・知覚心理学（1） 初期の感覚知覚研究とゲシュタルト心理学	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.151-176 の予習
17	感覚・知覚心理学（2） 感覚知覚研究のその後	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.151-176 の予習
18	行動主義心理学（1） 古典的行動主義	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.177-195 の予習
19	行動主義心理学（2） 新行動主義とその後	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.177-195 の予習
20	認知心理学（1） 認知心理学の成立	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.197-224 の予習
21	認知心理学（2） 認知心理学の現在	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.197-224 の予習 中間（第2回）レポート提出
22	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
23	社会心理学（1） 社会心理学とは	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.227-247 の予習
24	社会心理学（2） 社会的相互作用と社会的影響	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.227-247 の予習
25	臨床心理学（1） 臨床心理学の歴史	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.227-247 の予習
26	臨床心理学（2） 臨床心理学の理論	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.227-247 の予習
27	臨床心理学（3） 様々な心理的問題	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.227-247 の予習
28	現代社会における心理学 身近な心理学的テーマを巡って	ディスカッション リアクションペーパー	プリント配布 期末（第3回）レポート提出
29	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
30	心理学のまとめ 質疑と補足	発表 質疑 講義補足 リアクションペーパー	ワークシート配布

テキスト	中西信男・道又爾・三川俊樹編著『現代心理学』(ナカニシヤ出版)
参考書	道又爾『心理学一步手前』(頸草書房)
履修条件、前提科目	秋学期に発達心理学を履修する学生は、心理学を履修しておくことが望ましい

科目名	PED100: 体育理論（ウェルネスと身体）				担当教員	木戸 直美
開講期	春 / 秋	開講時限	火 2 限 金 3 限	研究室	4号館 2階講師控室・体育館	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	健康、ライフスタイル、スポーツ、身体知、身体意識、コミュニケーション					
授業の概要	ウェルネス（wellness）とは、世界保健機関（WHO）が国際的に提示している「健康」の定義をより広範囲な視点から捉えた、現代における包括的な健康観である。この授業では、「健康とは何か？」及び「身体とは何か？」について深く言及し、豊かなライフスタイルを構築するまでの知識や主体的行動力を身に付けることを学ぶ。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            「健康」、「身体」についての認識をより深め、豊かなライフスタイルを構築するための自身の健康観を持つことができる。実際の日常生活において自身の健康観に基づき実行することができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観の歴史的変遷、概念について理解する。</li> <li>・現在の自分自身の健康状態についてウェルネスの観点から、正しく把握する。</li> <li>・自分自身の健康観について論理的に展開し、表現することができる。それらを日常生活に導入することができる。</li> <li>・オリンピックムーブメント・オリンピックレガシーを意識し、自身とスポーツとの関係について考えることができる。</li> </ul>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極参加 25%、リアクションシート 25%、中間レポート 20%、期末レポート 30%</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極参加：授業時の態度、発言、ディスカッションでの積極性            リアクションシート：授業の理解度及び、自分の学びの省察の記述            中間レポート・期末レポート：提示したポイントからのアプローチ、総合的な論文構成</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス、ウェルネスの領域	講義・リアクションシート	健康管理
2	健康の概念	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、ディスカッション資料準備
3	健康と体力 (新体力テストについて)	参加型講義・リアクションシート	健康管理、新体力テストについて予習
4	健康の三要素<栄養、運動、休養>① (生活活動調査)	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、生活活動調査
5	健康の三要素<栄養、運動、休養>② (栄養と食事調査)	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、食事調査
6	ストレスマネジメント	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
7	遊び・文化・スポーツ① ホイッピングの遊びについて	講義・ディスカッション・リアクションシート	中間レポート提出、健康管理、これまでの復習
8	遊び・文化・スポーツ② 現代におけるスポーツの役割について	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	コミュニケーションと身体① 身体知について	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
10	コミュニケーションと身体② 身体を媒介とする他者とのコミュニケーションについて	参加型講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
11	スポーツ科学と身体意識	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
12	自己調節作用 (自律神経系について)	講義・ディスカッション・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
13	わたしたちの健康観	講義・ディスカッション・学生発表・リアクションシート	健康管理、これまでの復習
14	ニューススポーツ	参加型講義・リアクションシート	期末レポート提出、健康管理、これまでの復習
15	スポーツイベント	参加型講義・リアクションシート	健康管理、これまでの復習

テキスト	ニュース記事、食事バランスガイド（厚生労働省・農林水産省）等による資料を授業時に配布
参考書	金子明友『身体知の構造』（明和出版） 高岡英夫『身体意識を鍛える』（青春出版社） ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』（中公文庫） 大学生の健康・スポーツ科学研究会編『大学生の健康・スポーツ科学 改訂版』（道和書院）
その他 特記事項	日常生活において自分自身の健康・身体に关心を持つ。

科目名	PED110: 体育（球技1）				担当教員	木戸 直美
開講期	春 / 秋	開講時限	火 3限 金 2限	研究室	4号館 2階講師控室・体育館	
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	テニス技能、運動の発生、身体知、コミュニケーション、大会運営					
授業の概要	スポーツ実践を通して体力の維持・増進、及びテニスの基本技能の向上を目指す。さらに、生涯スポーツへと方向づけることを目的とする。テニスは、運動経験（初心者～上級者）が様々であるが、各自の技能に応じた「できない」から「できる」への運動メカニズムを体得することを学ぶ。					
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            スポーツ実践を通して、体力の維持・増進を図る。テニスの基本技能を習得し、環境に応じたスポーツ展開の創造へと発展させることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスの基本技能を習得する。</li> <li>・ゲーム戦術、審判方法を理解することができる。</li> <li>・テニスの種目特性を理解し、ゲームに通じたコミュニケーション方法を習得する。</li> <li>・ゲームを楽しむことができる。</li> <li>・オリンピックムーブメント・オリンピックレガシーを意識し、自身とスポーツとの関係について考えることができる。</li> </ul>					
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業時の積極参加 50%、リアクションシート 20%、レポート 30%</p> <p><b>【評価基準】</b>            授業時の積極参加：授業時の態度            リアクションシート：身体知やコミュニケーションの視点から自分の学びの省察の記述            レポート：提示したポイントの記述、総合的な論文構成</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス、テニスの歴史	体育館に集合 リアクションシート	テニスの歴史について予習
2	テニス：グリップ、ラケットワーク、ストローク	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
3	テニス：ストローク（フォアハンド、バックハンド）①	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
4	テニス：ストローク（フォアハンド、バックハンド）②	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
5	テニス：サービス、サービスレシーブ	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
6	テニス：サービス、ボレー	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	テニス：ミニゲーム①	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
8	テニス：ミニゲーム②	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
9	テニス：ストロークとラリー	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
10	テニス：ダブルスゲーム	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
11	テニス：ダブルスゲーム（戦術）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
12	テニス：ダブルスゲーム（大会運営）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
13	室内スポーツ：FD	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
14	室内スポーツ：ミニテニス（基礎練習）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
15	室内スポーツ：ミニテニス（ゲーム）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習

テキスト	ルールのポイントについて資料配布
参考書	浅田隆夫『現代の保健体育』(学術図書出版) 金子明友『わざの伝承』(明和出版)
その他 特記事項	スポーツウェア・スポーツシューズ着用。 雨天時は室内スポーツ（13・14・15回）に入れ替える。 健康管理を行う。

科目名	PED111: 体育 (球技 2)				担当教員	原川 愛
開講期	春 / 秋	開講時限	金2限	研究室	4号館 2階講師控室・体育館	
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	運動技能の構造・成熟・定着・適応、球技、ニュースポーツ、生涯スポーツ					
授業の概要	各スポーツの基礎技術を定着させると共に、コミュニケーション能力も高める。それぞれの種目の特性を活かし、ゲームを楽しむ。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>            ゲームに必要な個人の基礎技術を習得し、個人の能力を尊重しながら、コミュニケーション能力を高め、自らの生涯スポーツへと発展させることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目の技術を獲得し、ゲームを楽しめるようになる。</li> <li>・ゲームを通じ、コミュニケーション能力を身に付けることができる。</li> <li>・ルールや審判方法を理解し、ゲームの運営ができるようになる。</li> <li>・オリンピックムーブメントを意識し、自身とスポーツの関係について考えることができるようになる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>            授業の積極参加 50%、リアクションペーパー20%、レポート 30%</p> <p><b>【評価基準】</b>            積極参加：授業時の態度            リアクションペーパー：各種目の終了時に、質問に対して、自己を振り返り、学んだことを適切に記述できるか。            レポート：授業を通して、人とコミュニケーションをとることの重要さや、生涯スポーツのあり方について理解し記述できているか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	バドミントン (1) 基礎技術 サーブ、ストローク	ペアワーク	体調管理
2	バドミントン (2) 基礎技術 フライト	ペアワーク	体調管理・ルールの確認
3	バドミントン (3) ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
4	卓球 (1) 基礎技術 ストローク、サーブ	ペアワーク	体調管理
5	卓球 (2) 基礎技術 フットワーク	ペアワーク	体調管理・ルールの確認
6	卓球 (3) ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
7	バレーボール (1) 基礎技術 パス、サーブ、レシーブ	ペアワーク	体調管理
8	バレーボール (2) 基礎技術 トス、スペイク、フォーメーション	グループワーク	体調管理・ルールの確認
9	バレーボール (3) ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
10	バスケットボール (1) 基礎技術 パス、ドリブル、シュート	ペアワーク	体調管理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	バスケットボール（2）基礎技術 グループ戦術	グループワーク	体調管理・ルールの確認
12	バスケットボール（3）ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
13	ニューススポーツ（1）	グループワーク	体調管理・資料調査
14	ニューススポーツ（2）	グループワーク	体調管理・資料調査
15	ニューススポーツ（3）	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・資料調査

科目名	PED112: 体育（体操）				担当教員	原川 愛
開講期	春 / 秋	開講時限	金3限	研究室	4号館2階講師控室・体育館	
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	体操、体つくり運動、からだほぐし、健康、体力、ストレッチ、新体操、運動発生					
授業の概要	身体づくり、動きづくり、健康づくりを中心に、ストレッチ体操、リズム体操、手具体操を取り入れながら、自己の身体を知り、運動の役割を理解する。手具体操は主に新体操競技で扱う手具を使用し、身体の動きと手具操作を音楽と一緒に実践する。					
達成目標 および 到達目標	<p><b>【達成目標】</b>        「からだ」を動かすことの楽しさや喜びを知り、自ら健康や体力に配慮し、それらを保持増進していくために必要な習慣を身につける。        新体操の手具の特性を理解し、手具操作の習得を目指す。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体力の向上を図り、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を高めることができる。</li> <li>・新体操の手具の基本操作を体得する。</li> <li>・音楽のリズムや曲調をとらえながら身につけた手具の基礎技術を組み合わせて作品を構成することができる。</li> <li>・オリンピックムードメントを意識し、自身とスポーツの関係について考えることができるようになる。</li> </ul>					
評価方法 および 評価基準	<p><b>【評価方法】</b>        授業の積極参加 (50%)、実技テスト (30%)、レポート (20%)</p> <p><b>【評価基準】</b>        積極参加：授業時の態度        実技テスト：ストレッチ体操については、運動経験が様々なため、評価は、運動を正しく理解して動かすことができているかどうかを基準にする。作品発表については、提示した基礎技術を的確に作品に取り入れることができているか。        レポート：授業を通して、健康・体力維持と体操は、どのような関係があるのかを理解し、記述できているか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	からだほぐし・体力づくり	実技	体調管理
2	ストレッチ体操	実技	前回の復習、体調管理
3	リズム体操（一人・二人で行う）	実技、ペアワーク	前回の復習、体調管理
4	リズム体操（一人・二人で行う）	実技、ペアワーク	前回の復習、体調管理
5	手具体操フープ（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
6	手具体操フープ（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理
7	手具体操ボール（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
8	手具体操ボール（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	手具体操リボン（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
10	手具体操リボン（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理
11	グループによる作品作り①	実技、グループワーク	発表の準備、体調管理
12	グループによる作品作り②	実技、グループワーク	発表の準備、体調管理
13	グループによる作品作り③	実技、グループワーク	発表の準備、体調管理、実技試験対策
14	グループによる作品作り④実技試験	実技、グループワーク、実技試験	発表の準備、体調管理
15	作品発表・総評	グループ発表	発表、体調管理